

---

---

結城市庁舎建設検討事業に係る

# 市民アンケート調査報告書

---

---

平成 26 年 1 月

結 城 市  
市長公室企画政策課

## - 目 次 -

1 . 調査の概要	1
1 ) 調査の目的	1
2 ) 調査の方法	1
3 ) 回収状況	1
4 ) 調査の精度	2
2 . 調査結果	3
( 1 ) 回答者の属性について	3
( 2 ) 現在の市庁舎の利用状況や印象について	18
( 3 ) 市庁舎の整備方針について	32
3 . 自由意見	51
4 . まとめ	52
5 . 調査票	55

# 1 . 調査の概要

## 1 ) 調査の目的

本アンケート調査は ,平成 24 年度より検討を進めている市庁舎建設検討事業に関する市民の率直かつ直接的な意向を把握することを目的に実施したものである。

## 2 ) 調査の方法

- (1) 調査地域：結城市全域（小学校区毎に人口比率に応じて配布）
- (2) 調査対象：結城市に住民票をおく市民（20 歳以上を対象）
- (3) 母集団：51,726 人（平成 25 年 10 月 1 日現在）
- (4) 標本数：3,000 票（男女の人口比率より男性 1,495 人 女性 1,505 人）
- (5) 抽出方法：20 歳以上の市民から無作為に抽出
- (6) 調査方法：郵送による発送・回収
- (7) 調査期間：平成 25 年 10 月 22 日～平成 25 年 12 月 3 日

## 3 ) 回収状況

- (1) 標本数：3,000 票
- (2) 有効回収数：1,403 票
- (3) 有効回収率：46.8%
- (4) 地区別回収率

	配布数	回収数	回収率
結城小学校地区	729	355	48.7%
城南小学校地区	501	250	49.9%
結城西小学校地区	485	206	42.5%
城西小学校地区	283	132	46.6%
絹川小学校地区	243	109	44.9%
上山川小学校地区	174	84	48.3%
山川小学校地区	230	93	40.4%
江川北小学校地区	245	106	43.3%
江川南小学校地区	110	53	48.2%
無回答	-	15	-
総計(市全体)	3,000	1,403	46.8%

#### 4) 調査の精度

##### 【報告書をみる際の注意事項】

- ・表中のnとは、回答者総数（あるいは分類別の回答者）である。
- ・回答者比率はnを100%として算出し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示した。四捨五入したため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・回答が2つ以上ある場合、本文中のグラフあるいは表の構成比の合計が100%を超えて、無回答分の構成比を含めて、回答が2つある場合は200%、3つある場合は300%となるように表示されている。その場合、構成比の読み方は1人が同じ答えを複数回挙げることは考えられないので、例えば30%とある場合は、100%の時と同様に全体1,403人の30%の人がその答えを挙げたと読むことができる。
- ・集計結果の比率は必ず誤差を含むが、この誤差の幅は、比率算出の基数（有効回収数 = n）と与えられた比率（回答比率 = P）によって異なり、無作為抽出の場合、次の式で与えられる（ただし、信頼度95%の場合）。

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{P(1-P)/n}$$

- ・この公式によって算出された本調査の回答誤差は、以下の通りである。つまり、回答数（1,403）を基数（100.0%）としたとき、例えば、質問Aに対して「1」と回答する人が50.0%とすると、結城市全体の中で「1」と回答する人の率は、47.4%～52.6%の範囲内にあると考えられる。
- ・クロス集計の場合は、性別・年齢などの属性によって基数が異なるが、公式から明らかのように、基数が小さいほど誤差が大きくなる。

回答比率 (P × 100)	基数 (n)	誤差	信頼範囲
10% (90%)	1,403	±1.6	8.4 ~ 11.6 (88.4 ~ 91.6)
20% (80%)	1,403	±2.1	17.9 ~ 22.1 (77.9 ~ 82.1)
30% (70%)	1,403	±2.4	27.6 ~ 32.4 (67.6 ~ 72.4)
40% (60%)	1,403	±2.6	37.4 ~ 42.6 (57.4 ~ 62.6)
50%	1,403	±2.6	47.4 ~ 52.6

## 2. 調査結果

### 1. あなた自身のことについてお伺いします。

問1. あなたの性別をお答えください。(1つ選んで○をつけてください)

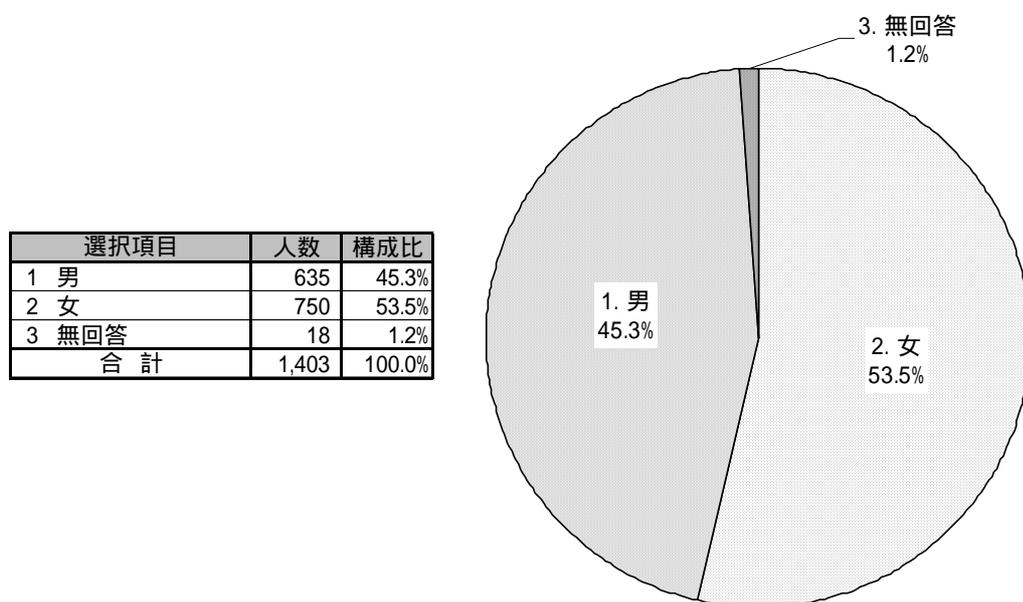
1. 男性

2. 女性

(n = 1,403)

#### [傾向]

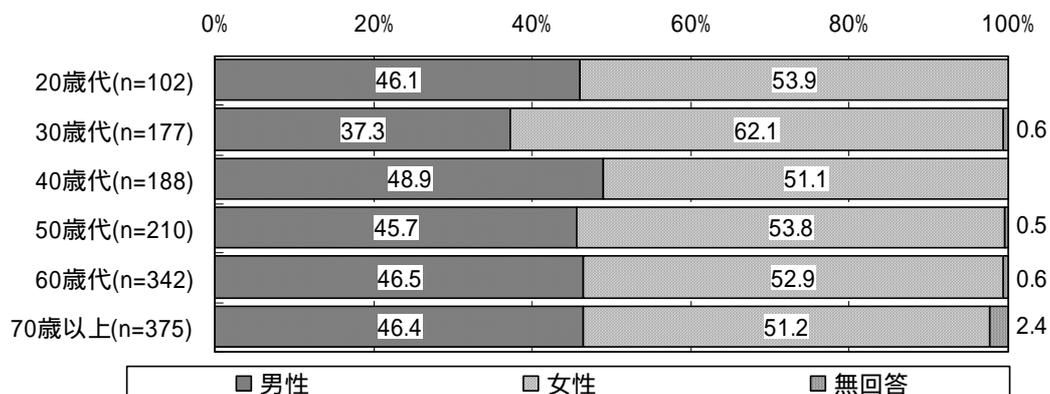
本調査における回答者の性別構成比は、男性：女性 = 45.3%：53.5%と女性が男性を上回っている。また、平成22年の国勢調査での性別構成比の男性：女性 = 49.8%：50.2%より女性の関心の高さがうかがわれる。



#### 年齢とのクロス集計

#### [傾向]

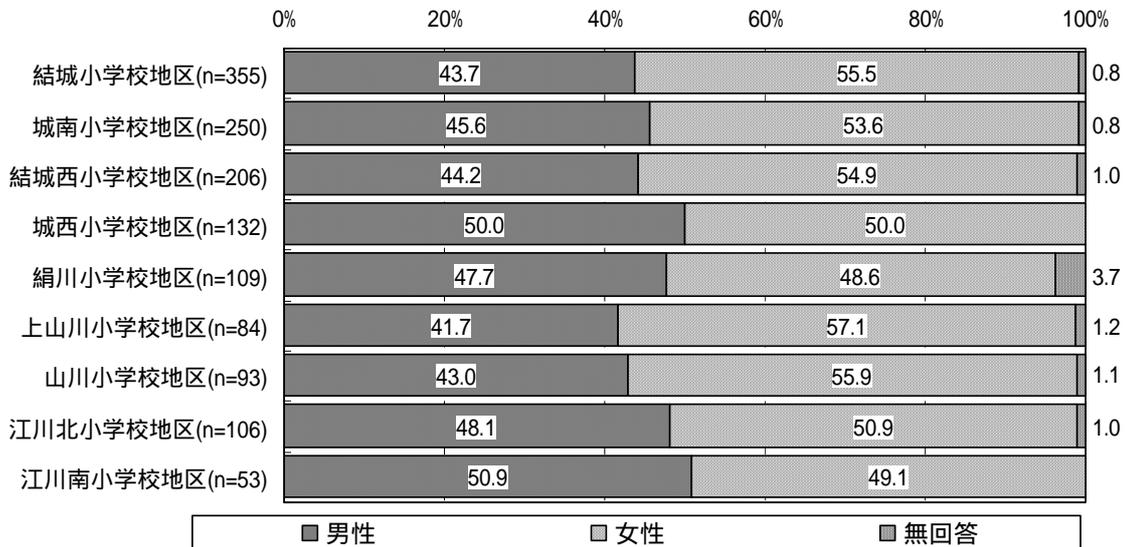
年齢別では、いずれの年齢層も女性の割合が男性よりも高く、特に30歳代で6割を超えており、他の年齢層に比べて高く、本調査への関心度が高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### 【傾向】

居住地区別では、全体と同様に女性の割合が高くなっている中で、城西小学校地区では男性及び女性ともに 50.0%となっているほか、江川南小学校地区では男性が女性よりも 1.9 ポイント上回っている。





問2 . あなたの年齢はおいくつですか。(1つ選んで○をつけてください)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 . 20歳代 (20~29歳) | 2 . 30歳代 (30~39歳) |
| 3 . 40歳代 (40~49歳) | 4 . 50歳代 (50~59歳) |
| 5 . 60歳代 (60~69歳) | 6 . 70歳以上         |

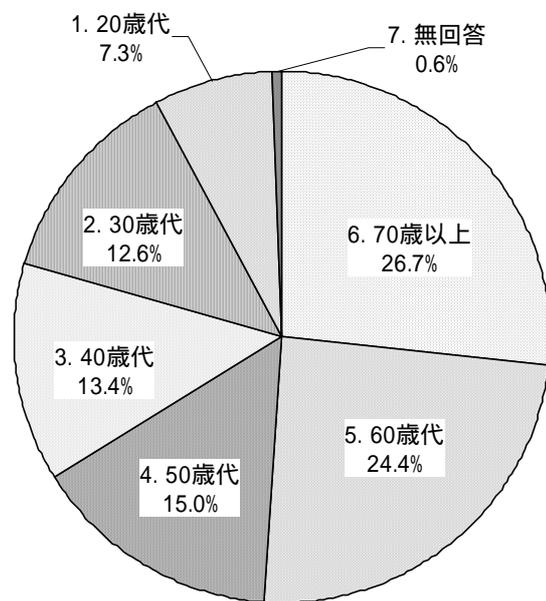
( n = 1,403 )

**【傾向】**

年齢別構成比は、「70歳以上」が26.7%で最も多く、次いで「60歳代」24.4%、「50歳代」15.0%、「40歳代」13.4%の順となっており、年齢層が高くなるにつれて回答率も高くなっており、調査への関心度が高いことがうかがわれる。

特に、60歳代以上では、その他の年齢層よりも回答率が高くなっている。

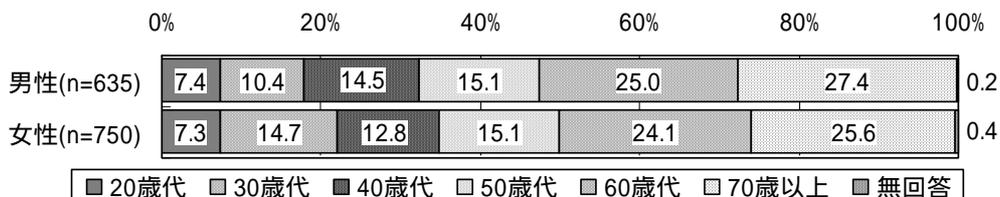
選択項目	人数	構成比
1 20歳代	102	7.3%
2 30歳代	177	12.6%
3 40歳代	188	13.4%
4 50歳代	210	15.0%
5 60歳代	342	24.4%
6 70歳以上	375	26.7%
7 無回答	9	0.6%
合計	1,403	100.0%



**性別とのクロス集計**

**【傾向】**

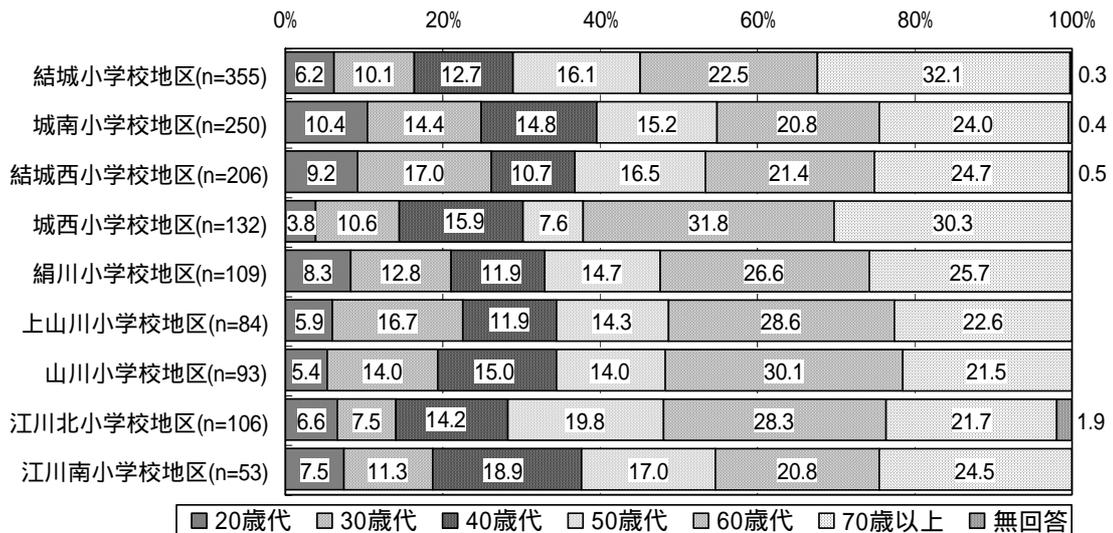
性別では、全体と同様に60歳代以上の割合が高くなっている中で、男性では40歳代、女性では30歳代で高い割合となっている。



## 居住地区とのクロス集計

### 〔傾向〕

居住地区別では、いずれの地区も60歳以上の割合が高くなっており、特に、結城小学校地区では「70歳以上」、城西小学校地区では「60歳以上」「70歳以上」、上川小学校地区では「60歳以上」で3割を超えている一方で、結城西小学校地区や上山川小学校地区では「30歳代」、江川南小学校地区では「40歳代」、江川北小学校では「50歳代」で約2割を占めており、他の地区に比べて高くなっている。



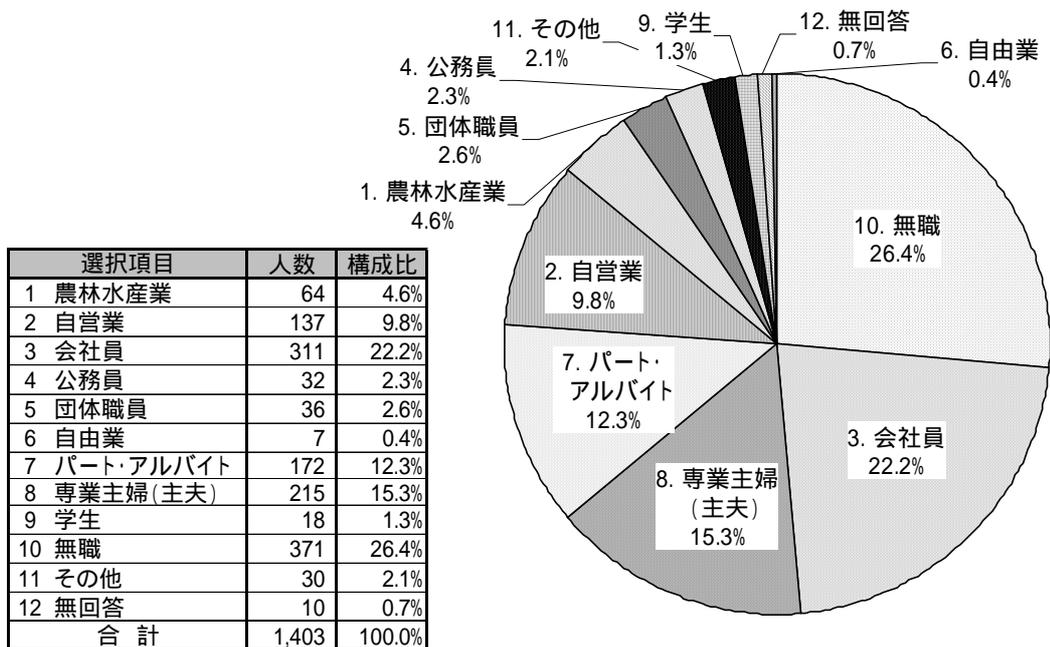
問3 . あなたの職業は次のうちどれですか。兼業の場合は主とする職業をお答えください。(1つ選んで○をつけてください)

- 1 . 農林水産業
- 2 . 自営業 (卸売業 , 小売業 , サービス業 , 製造業等)
- 3 . 会社員
- 4 . 公務員
- 5 . 団体職員 (私立の学校 , 病院 , 保育所等の教職員含む)
- 6 . 自由業 (開業医 , 会計士 , 芸術家等)
- 7 . パート・アルバイト
- 8 . 専業主婦 (主夫)
- 9 . 学生 (大学 , 専門学校 , 予備校生等)
- 10 . 無職
- 11 . その他

( n = 1,403 )

**【傾向】**

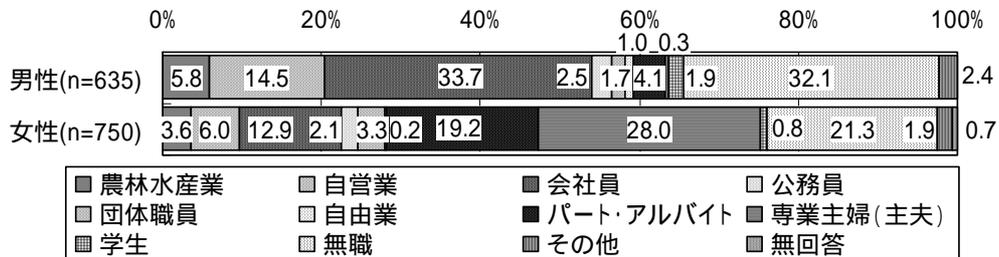
職業は、「無職」が26.4%で最も多く、次いで「会社員」22.2%、「専業主婦(主夫)」15.3%、「パート・アルバイト」12.3%、「自営業」9.8%の順となっている。



## 性別とのクロス集計

### [ 傾向 ]

性別では、男性が「会社員」、女性では「専業主婦」が最も高くなっているほか、男性及び女性ともに「無職」が高く、特に男性では3割を超えている。

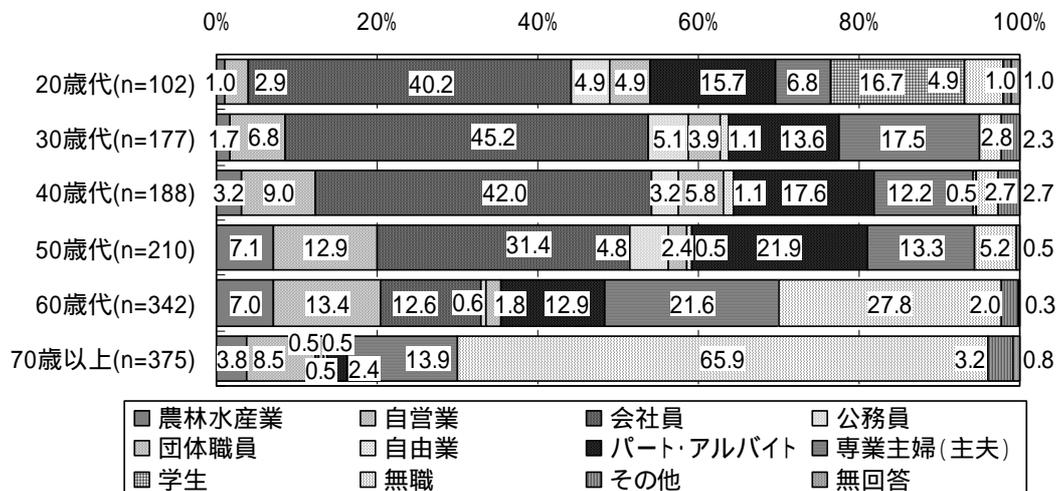


## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

年齢別では、20～50歳代では「会社員」、60歳代以上では「無職」の占める割合が高くなっており、特に70歳以上では約7割を超えている。

また、30歳代や60歳代では「専業主婦」、比較的子育てが落ち着く40～50歳代では「パート・アルバイト」の割合が高くなっている。

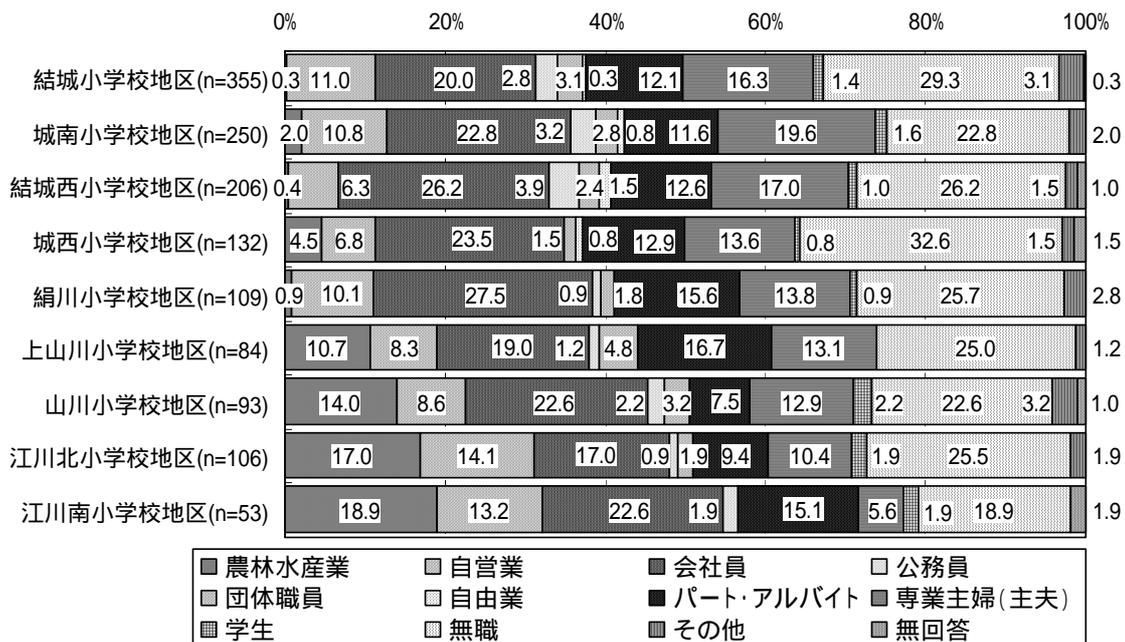


## 居住地区とのクロス

### 〔傾向〕

居住地区別では、いずれの地区も「会社員」や「無職」の占める割合が高くなっており、特に、結城小学校地区や城西小学校地区では「無職」が3割を占めている。

また、結城小学校地区や城南小学校地区、結城西小学校地区で「専業主婦(主夫)」, 絹川小学校地区や上山川小学校地区、江川南小学校地区で「パート・アルバイト」、上山川小学校地区や山川小学校地区、江川北小学校地区、江川南小学校地区で「農林水産業」が他の地区に比べて高くなっている。





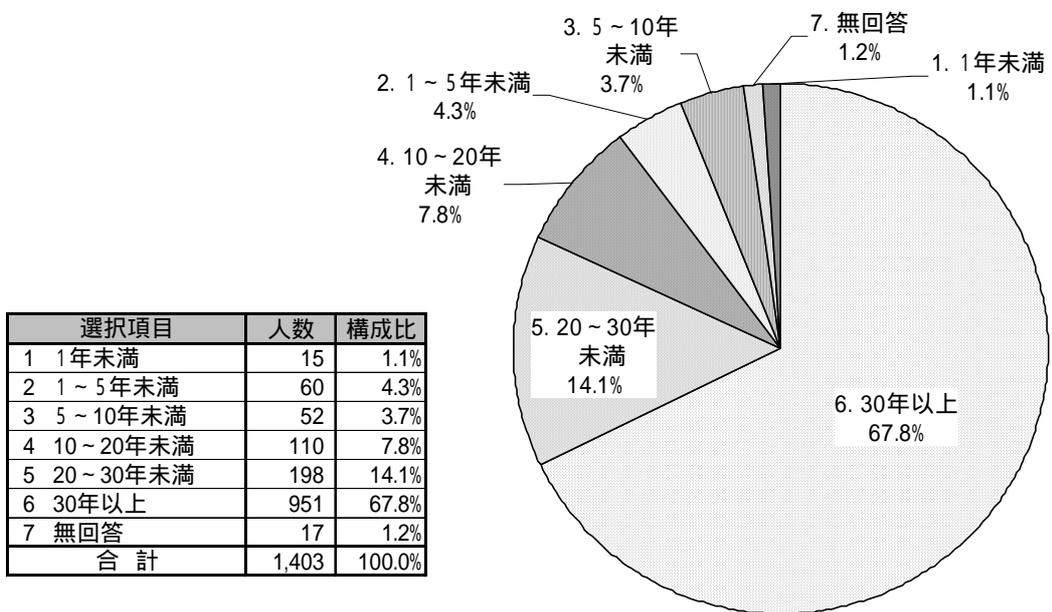
問4 . あなたが結城市にお住まいの期間とその経緯をお答えください。  
 ( 1つ選んで○をつけてください)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 居住年数         |              |
| 1 . 1年未満     | 2 . 1～5年未満   |
| 3 . 5～10年未満  | 4 . 10～20年未満 |
| 5 . 20～30年未満 | 6 . 30年以上    |

( n = 1,403 )

**[ 傾向 ]**

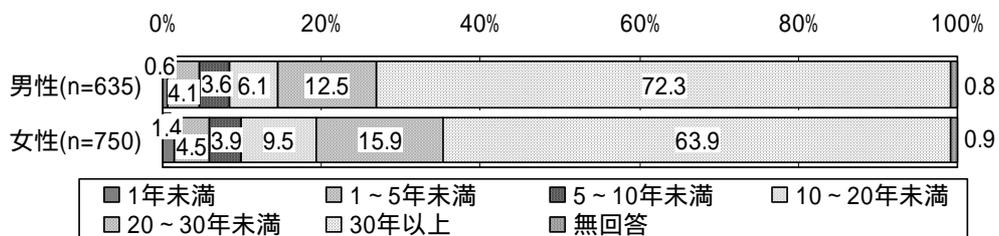
結城市での居住年数では、「30年以上」が67.8%と最も多く、次いで「20～30年未満」14.1%、「10～20年未満」7.8%の順となっており、比較的居住年数の長い項目が挙げられている。



**性別とのクロス集計**

**[ 傾向 ]**

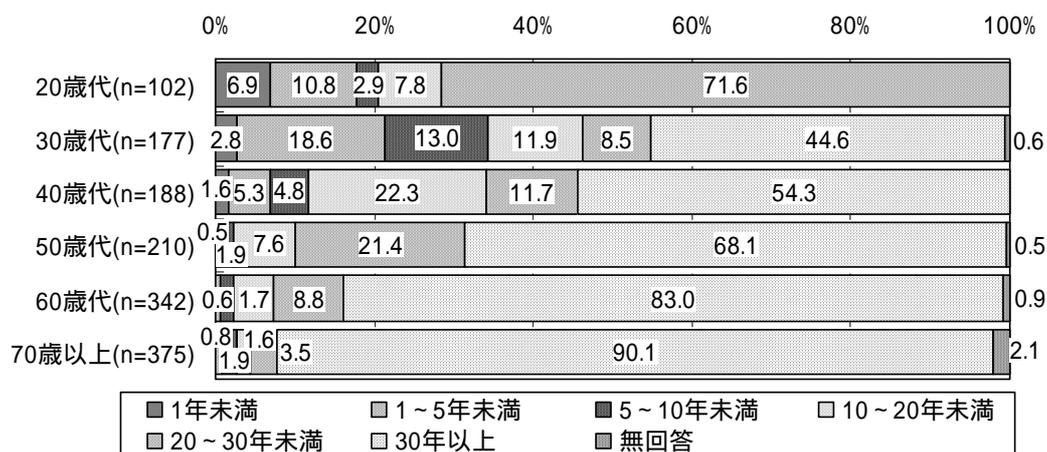
性別では、全体と同様に男性及び女性ともに、居住年数が30年以上の人が最も多くなっており、特に男性では7割を超えている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

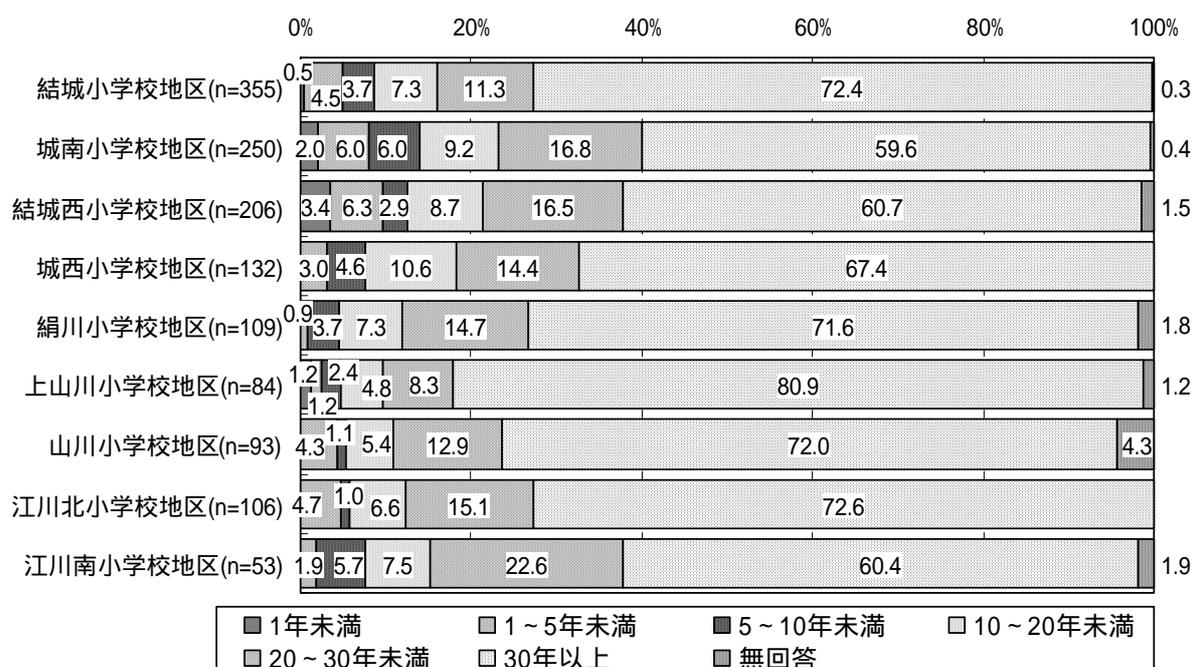
年齢別では、年齢層が高くなるにつれて、居住年数が30年以上の人の割合が高くなっており、特に70歳以上では9割を占めている一方で、20～30歳代では「1～5年未満」と比較的居住年数の短い人の割合が高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### [ 傾向 ]

居住地区別では、いずれの地区ともに居住年数が30年以上の人が6割を超えており、特に、上山川小学校地区で8割を超えている。



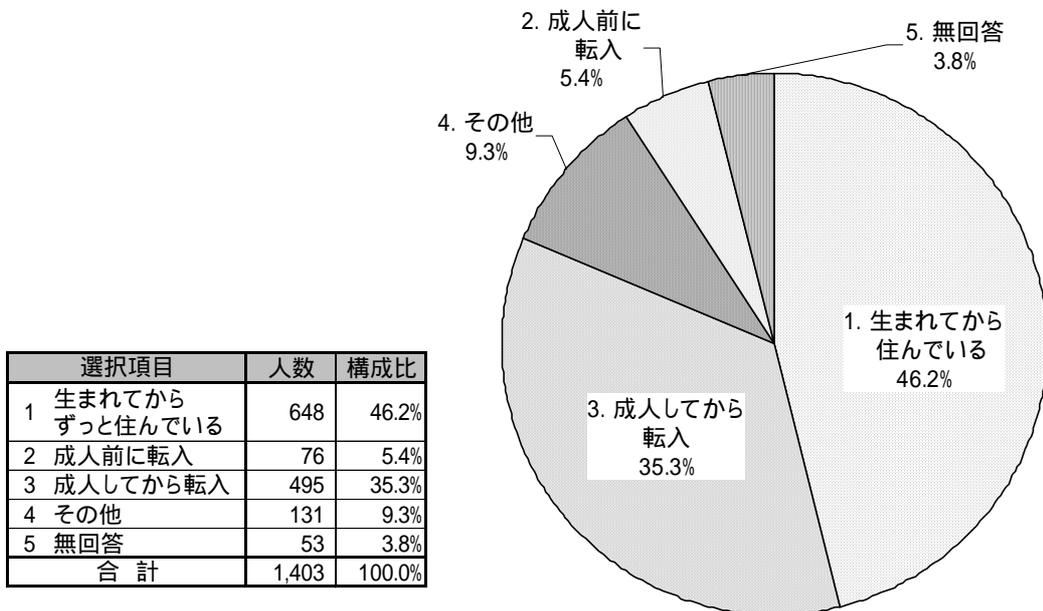
### 居住経緯

1. 生まれてからずっと住んでいる（一時的に転出した場合を含む）
2. 成人前に転入してきた
3. 成人してから転入してきた
4. その他

( n = 1,403 )

#### 【傾向】

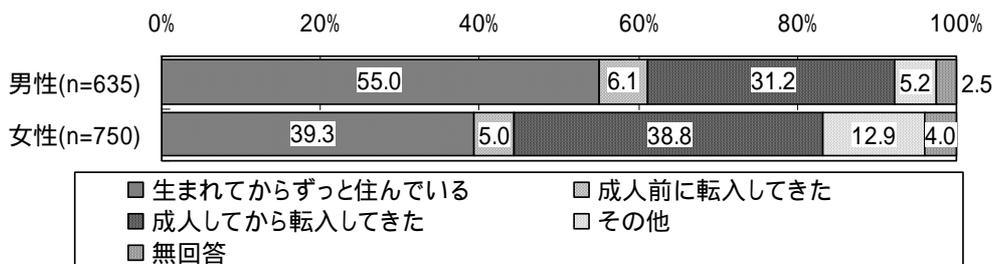
結城市への居住の経緯では、「生まれてからずっと住んでいる」が46.2%と最も多く、次いで「成人してから転入してきた」35.3%、「その他」9.3%、「成人前に転入してきた」5.4%の順となっており、「その他」と回答している人の主な理由としては、結婚や転勤、住宅の購入等が挙げられている。



### 性別とのクロス集計

#### 【傾向】

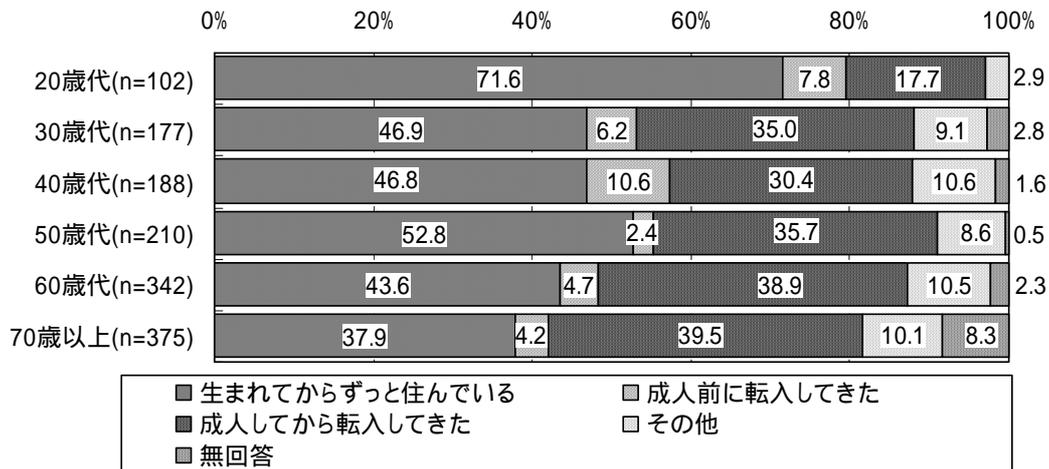
性別では、男性の「生まれてからずっと住んでいる」が約6割を占め、女性では約4割となっている一方で「成人してから転入してきた」、「その他」が男性よりも高くなっている。



## 年齢とのクロス集計

### 〔傾向〕

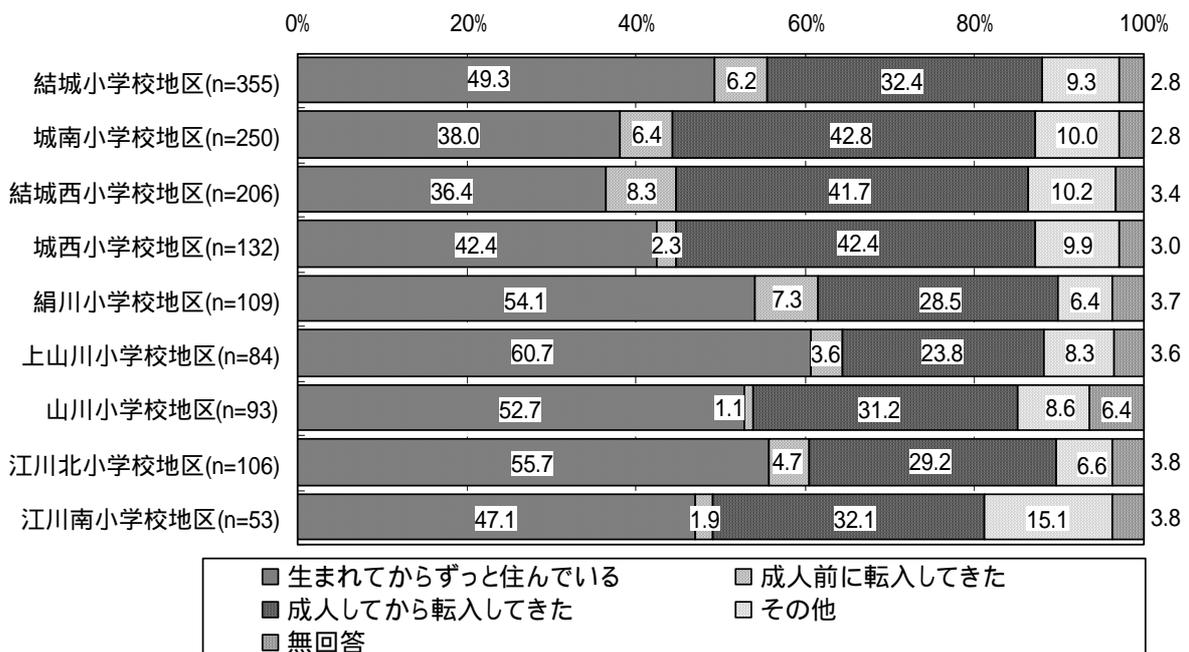
年齢別では、「生まれてからずっとすんでいる」が20歳代で7割を超えているが、年齢層が高くなるにつれて割合が低くなっている一方で、成人してから転入してきた人の割合が高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### 〔傾向〕

居住地区別では、城南小学校地区や結城西小学校地区、城西小学校地区では「成人してから転入してきた」が「生まれてからずっと住んでいる」を上回っており、市街地内の土地区画整理事業等の住宅供給に伴う新住民の定住化によるものと考えられる。



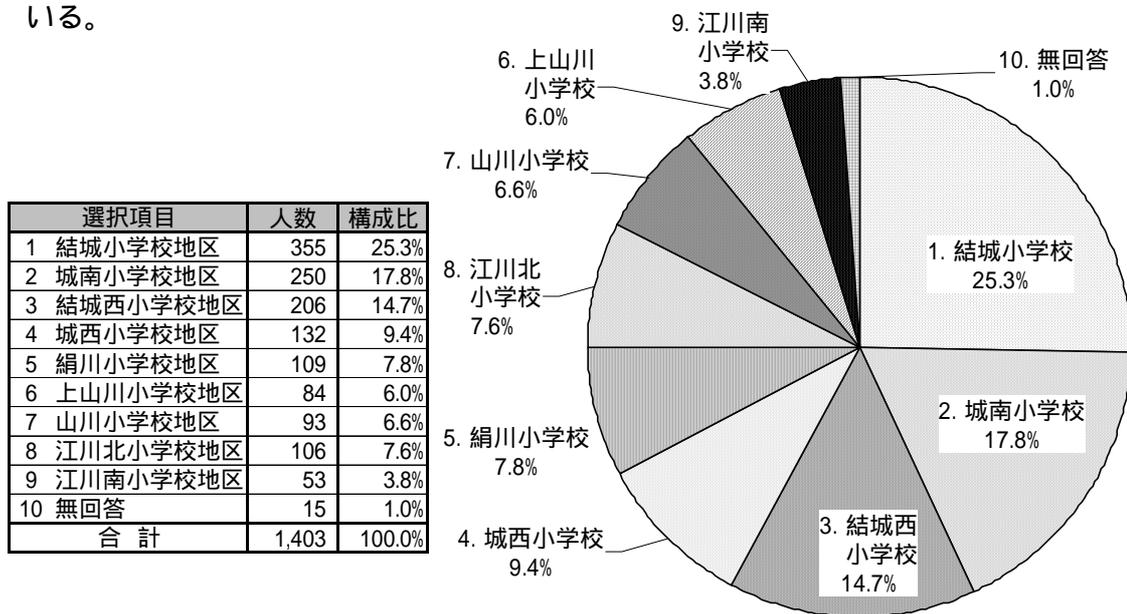
問5 . あなたのお住まいの地区をお答えください。  
 ( 該当する地区を1つ選んで○をつけてください)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 . 結城小学校地区  | 2 . 城南小学校地区  |
| 3 . 結城西小学校地区 | 4 . 城西小学校地区  |
| 5 . 絹川小学校地区  | 6 . 上山川小学校地区 |
| 7 . 山川小学校地区  | 8 . 江川北小学校地区 |
| 9 . 江川南小学校地区 |              |

( n = 1,403 )

**【傾向】**

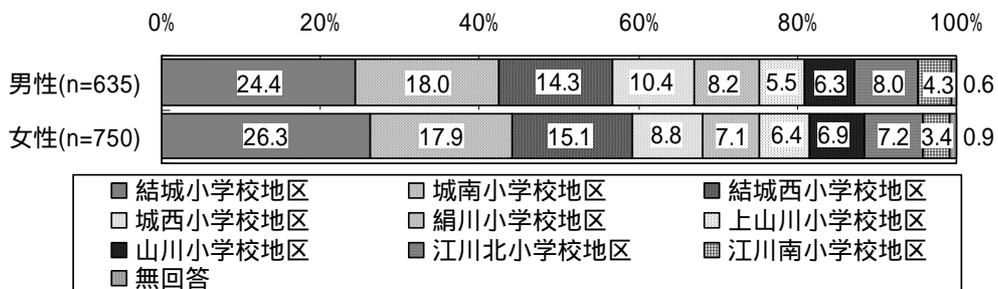
居住地区では「結城小学校地区」が 25.3%で最も多く、次いで「城南小学校地区」17.8% , 「結城西小学校地区」14.7% , 「城西小学校地区」9.4%の順となっている。



**性別とのクロス集計**

**【傾向】**

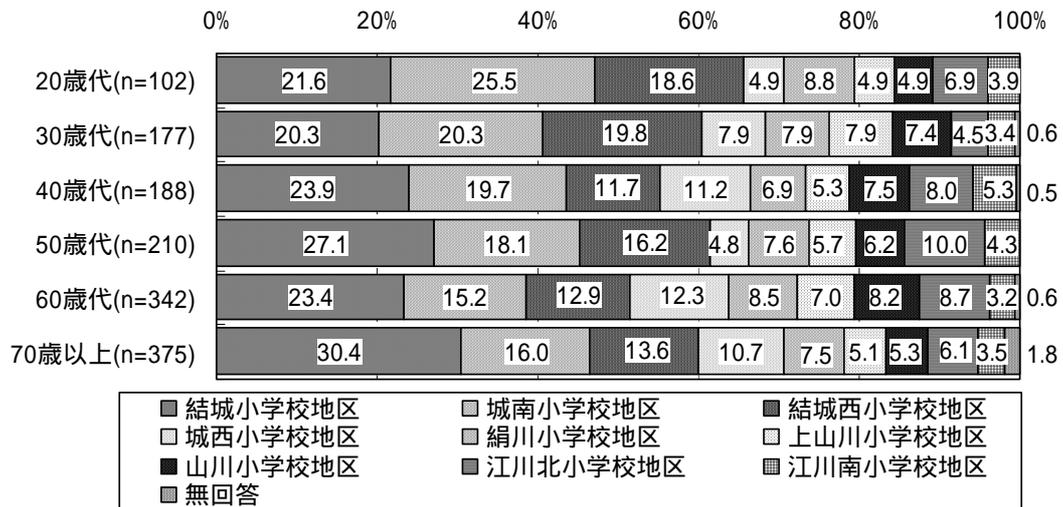
・性別では、全体と同様の傾向となっている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

年齢別では、20～30歳代で「城南小学校地区」「結城西小学校地区」、50歳代や70歳以上で「結城小学校地区」、60歳代以上で「城西小学校地区」が、その他の年齢層に比べて高くなっている。



## 2. 現在の市庁舎の利用状況や印象についてお伺いします。

問6. これまでに結城市役所の本庁舎 を利用したことがありますか。  
(1つ選んで○をつけてください)

1. ある  
2. ない (→4ページの中段, 「3.市庁舎の整備方針」へお進みください)

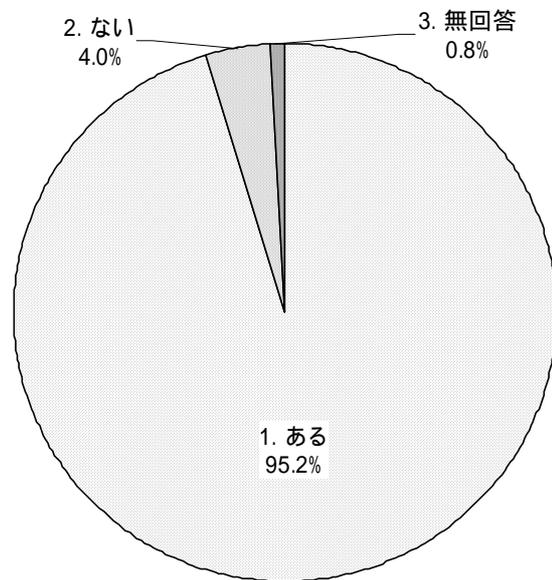
本庁舎 … 結城小学校西側の市役所 (第1庁舎, 第2庁舎, 西庁舎) を指します

(n = 1,403)

### 【傾向】

結城市役所の本庁舎の利用では, 利用したことがあると回答している人が95.2%を占めており, 回答した人のほとんどが利用している。

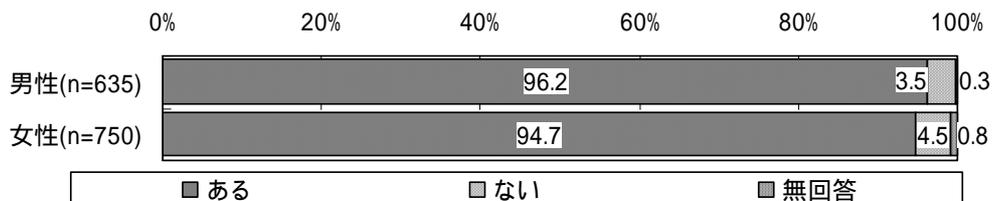
選択項目	人数	構成比
1 ある	1,335	95.2%
2 ない	56	4.0%
3 無回答	12	0.8%
合計	1,403	100.0%



### 性別とのクロス集計

#### 【傾向】

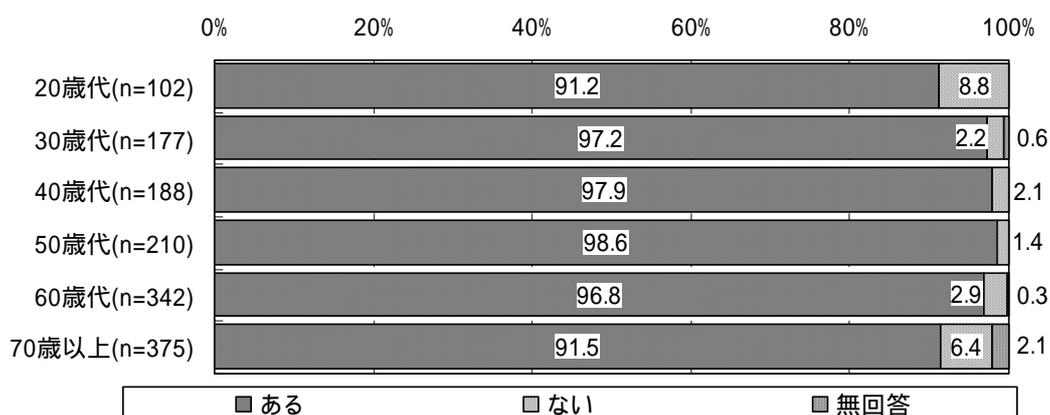
性別では, 全体と同様に利用したことがあると回答している人が9割を超えており, 特に男性の利用が女性の利用を上回っている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

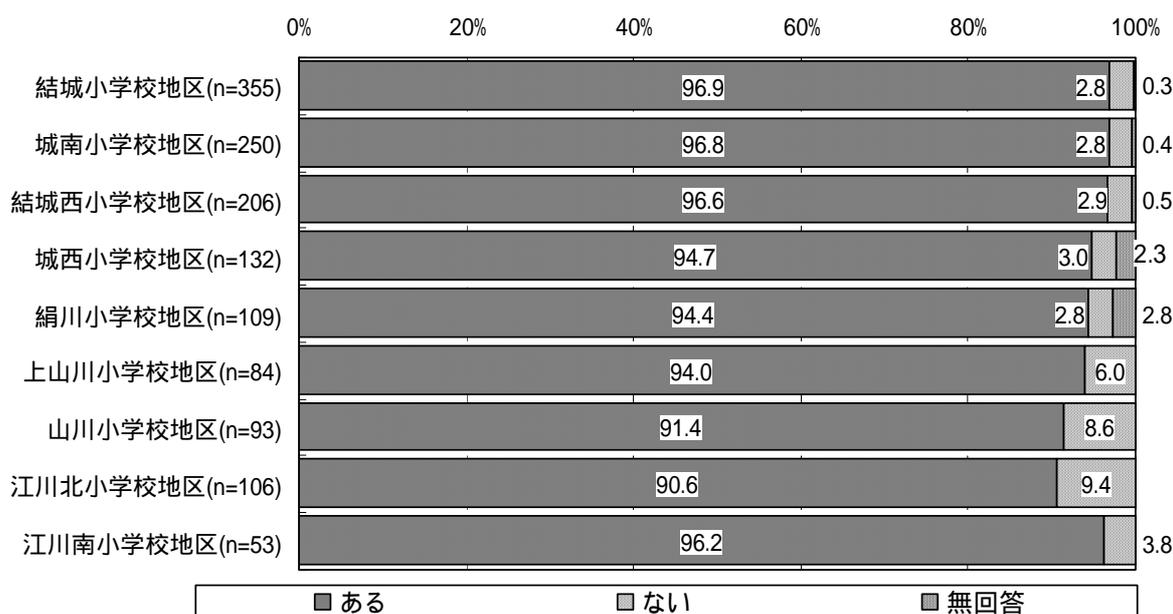
年齢別では、全体と同様に利用したことがあると回答している人が9割を超えており、特に30～60歳代では96.8～98.6%と回答した人のほとんどが利用している一方で、70歳以上では利用していない人の割合が他の年齢層よりも高くなっていることから、本人よりも家族等による利用がうかがわれる。



## 居住地区とのクロス集計

### [ 傾向 ]

居住地区別では、全体と同様に利用したことがあると回答している人が94.0～96.9%と回答した人のほとんどが利用しているなか、上山川小学校地区や山川小学校地区、江川北小学校地区では、出張所等の利用により他の地区に比べて利用していない人の割合が高くなっている。



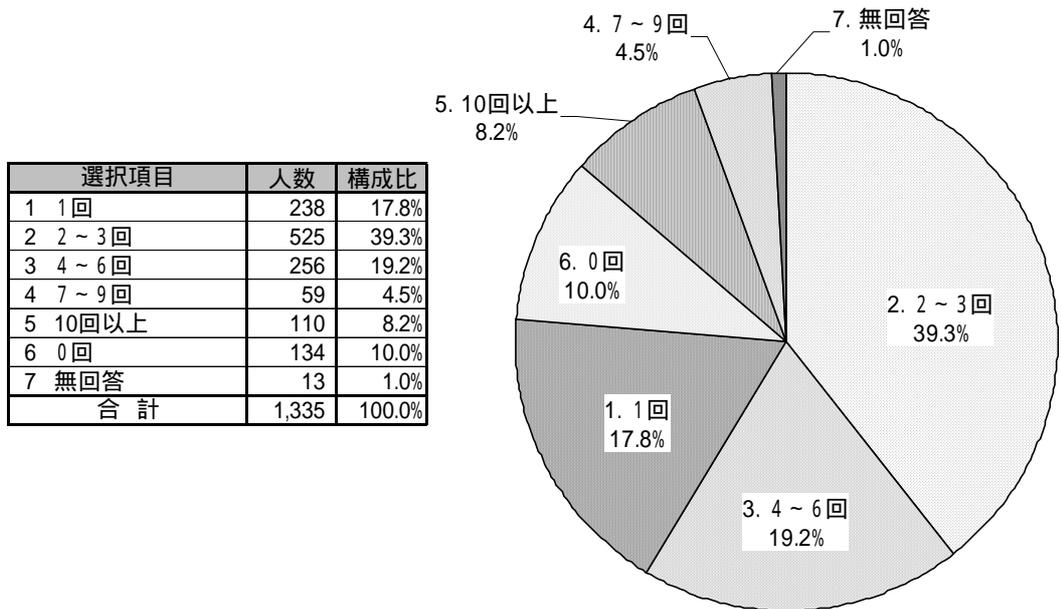
問7 . 問6で「ある」と答えた方に伺います。最近、概ね1年間で何回ほど本庁舎を訪れましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 . 1回     | 2 . 2 ~ 3回 |
| 3 . 4 ~ 6回 | 4 . 7 ~ 9回 |
| 5 . 10回以上  | 6 . 0回     |

( n = 1,403 )

**[ 傾向 ]**

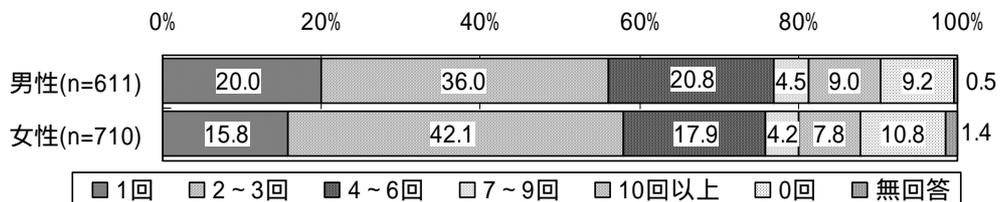
最近、概ね1年間に於ける市役所本庁舎の利用回数では、「2 ~ 3回」が39.3%で最も多く、次いで「4 ~ 6回」19.2%、「1回」17.8%の順となっている。



**性別とのクロス集計**

**[ 傾向 ]**

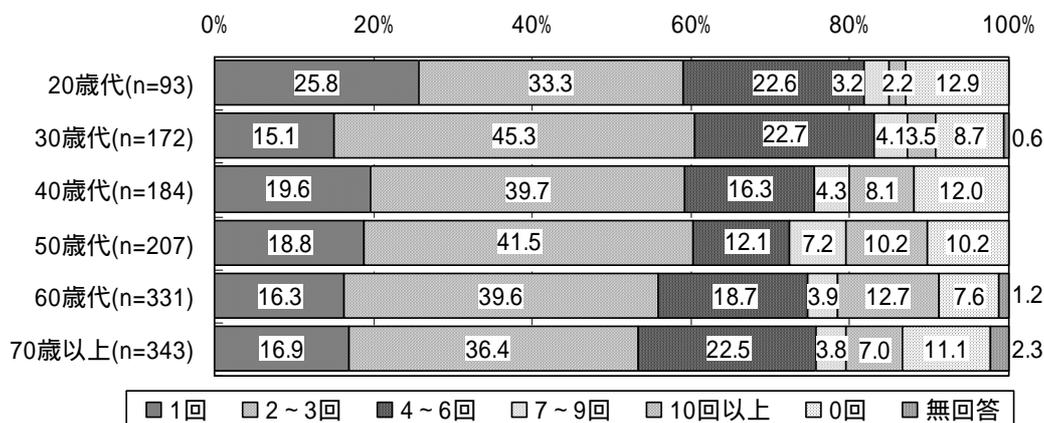
性別では、全体と同様の傾向となっている。



## 年齢とのクロス集計

### [傾向]

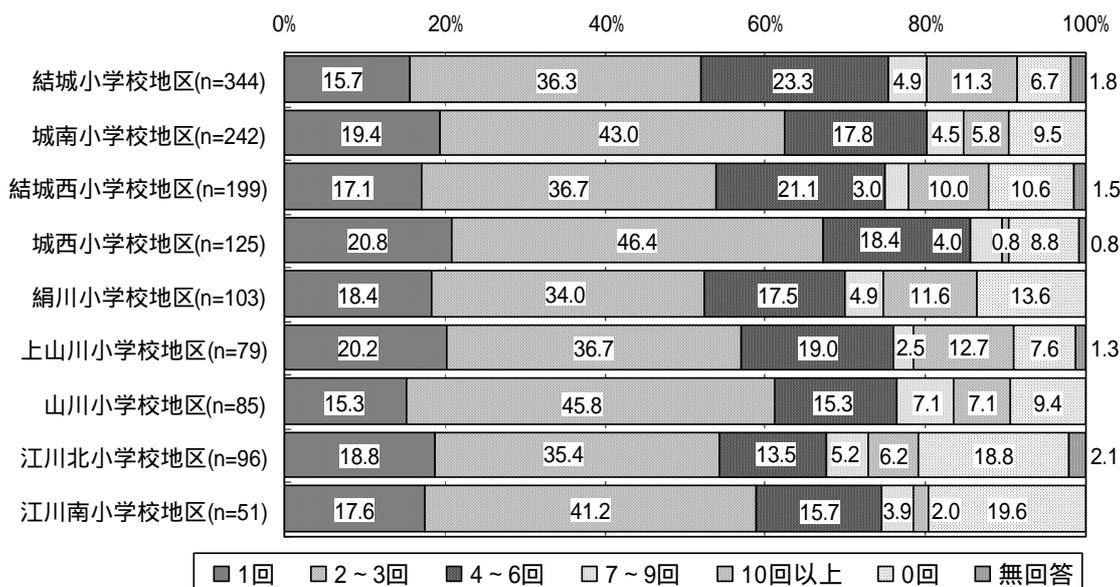
年齢別では、20歳代で「1回」が約3割を占めているほか、30歳代や50歳代で「2～3回」が4割、20～30歳代や70歳以上で「4～6回」が2割を超えており、その他の年齢層に比べて高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### [傾向]

居住地区別では、城南小学校地区や城西小学校地区、山川小学校地区、江川南小学校地区で「2～3回」が4割、結城小学校地区や結城西小学校地区で「4～6回」が2割を超えているほか、江川北小学校地区や江川南小学校地区では出張所等の利用により「0回」が他の地区よりも高くなっている。



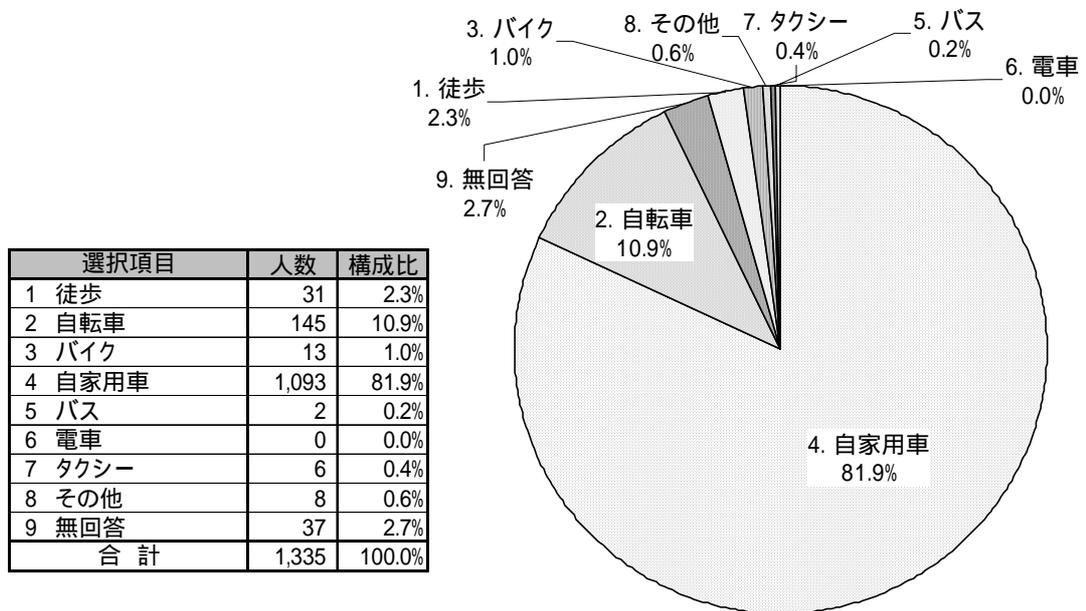
問8 . 問6で「ある」と答えた方に伺います。主にどのような交通手段で本庁舎を訪れましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 . 徒歩   | 2 . 自転車  |
| 3 . バイク  | 4 . 自家用車 |
| 5 . バス   | 6 . 電車   |
| 7 . タクシー | 8 . その他  |

( n = 1,335 )

**[ 傾向 ]**

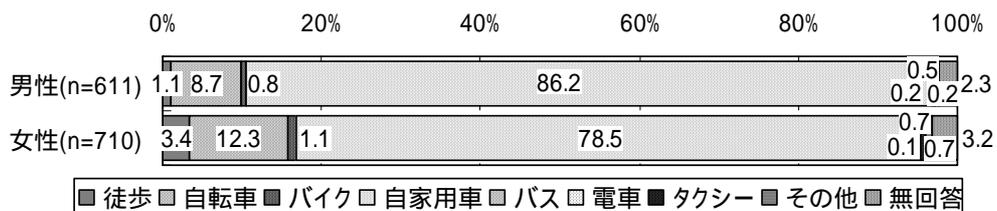
市役所本庁舎までの交通手段では、「自家用車」が81.9%で最も多く、次いで「自転車」10.9%、「徒歩」2.3%と、これらで全体の95.1%を占めており、その他の項目は1.0%未満とほとんど利用されていない状況となっている。



**性別とのクロス集計**

**[ 傾向 ]**

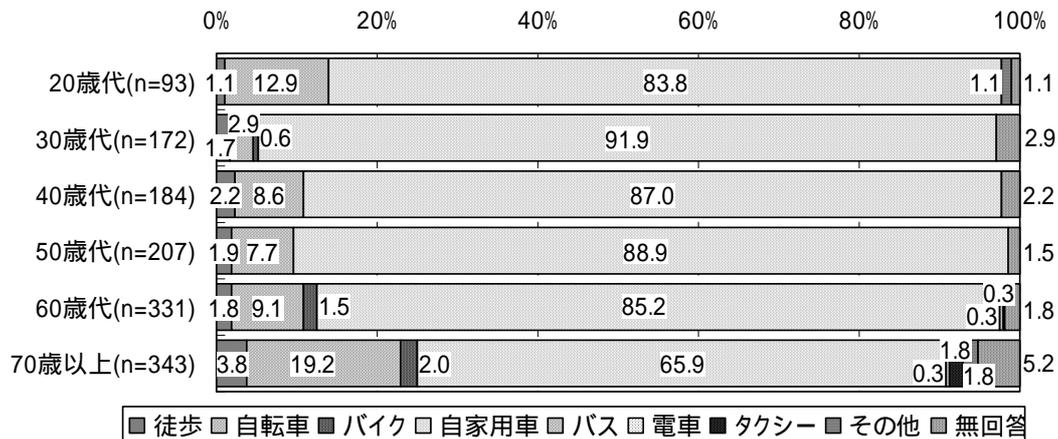
性別にみると、全体と同様に男性及び女性ともに、自家用車の利用が高くなってきているが、自転車や徒歩による来庁が女性で高くなっている。



## 年齢とのクロス集計

### 〔傾向〕

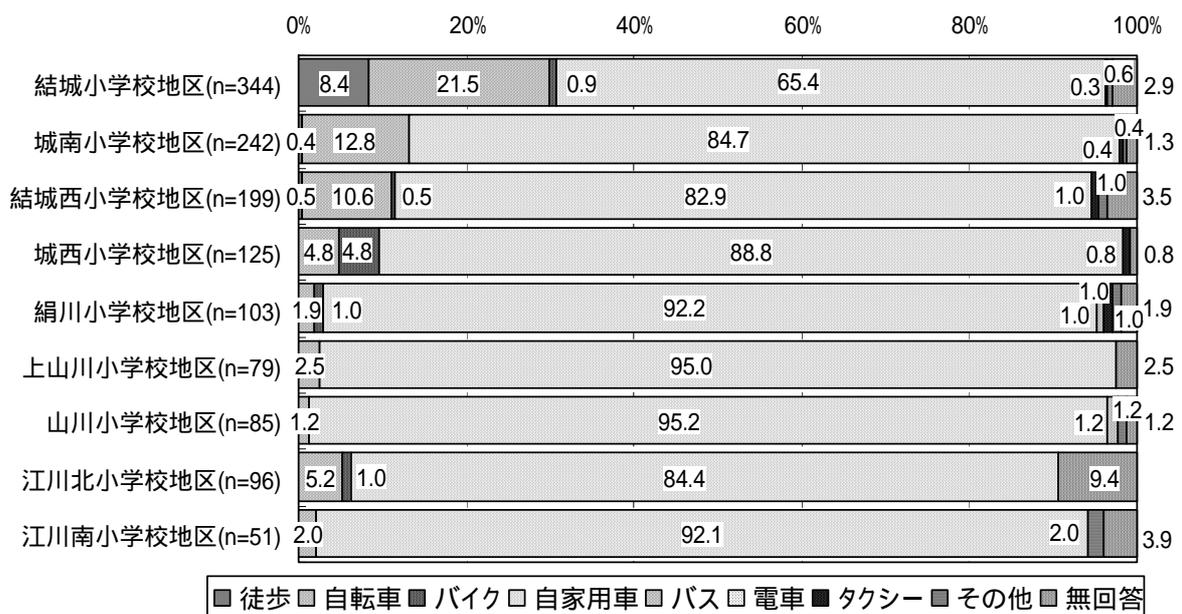
年齢別では、20～60歳代では8割を超える人が自家用車を利用しており、特に30歳代では9割を占めている。その一方で、20歳代や70歳以上で自転車の利用が他の年齢層に比べて高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### 〔傾向〕

居住地区別では、結城小学校地区を除く地区では自家用車を8割を超える人が利用し、山川小学校地区や上山川小学校地区、江川南小学校地区、絹川小学校地区で9割以上となっている。また、結城小学校区や城南小学校区、結城西小学校区では自転車、結城小学校地区では徒歩が他の地区に比べて高くなっている。



問9 . 問6で「ある」と答えた方に伺います。あなたが本庁舎を訪れたのは、どのようなご用件ですか。(3つまで選んで○をつけてください)

- 1 . 戸籍 , 住民票 , 印鑑登録に関すること
- 2 . 国民健康保険に関すること
- 3 . 国民年金に関すること
- 4 . 税証明の発行等 ( 市民税 , 固定資産税等 ) に関すること
- 5 . 保育所の入所や児童手当等 , 子ども福祉に関すること
- 6 . 高齢者や障がいのある人の福祉に関すること
- 7 . 建築確認申請や都市計画 , 道路等に関すること
- 8 . 市民相談に関すること
- 9 . 自治会や地域の活動に関すること
- 10 . 市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること
- 11 . その他

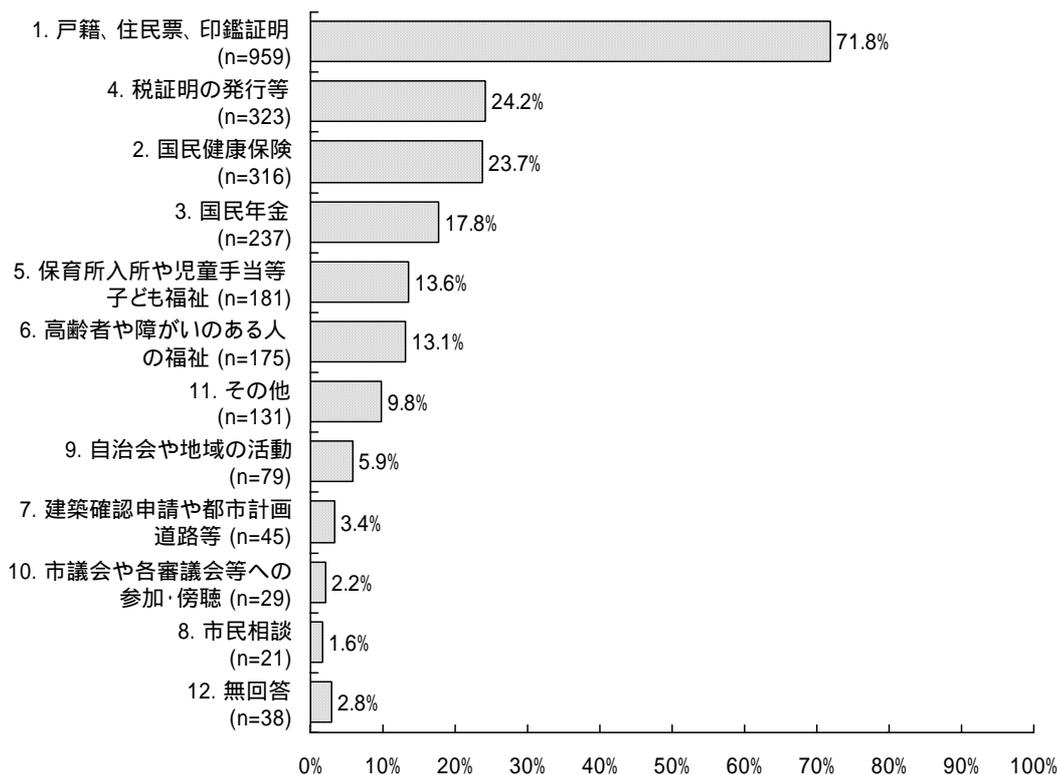
( n = 1,335 )

#### 【傾向】

市役所本庁舎を利用する主な用件では、「戸籍,住民票,印鑑登録に関すること」が71.8%で最も多く、次いで「税証明の発行等(市民税,固定資産税等)に関すること」24.2%、「国民健康保険に関すること」23.7%、「国民年金に関すること」17.8%、「保育所の入所や児童手当等,子ども福祉に関すること」13.6%、「高齢者や障がいのある人の福祉に関すること」13.1%の順となっている。

選択項目	人数	構成比
1 戸籍、住民票、印鑑証明に関すること	959	71.8%
2 国民健康保険に関すること	316	23.7%
3 国民年金に関すること	237	17.8%
4 税証明の発行等に関すること	323	24.2%
5 保育所の入所や児童手当等、子ども福祉に関すること	181	13.6%
6 高齢者や障がいのある人の福祉に関すること	175	13.1%
7 建築確認申請や都市計画、道路等に関すること	45	3.4%
8 市民相談に関すること	21	1.6%
9 自治会や地域の活動に関すること	79	5.9%
10 市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること	29	2.2%
11 その他	131	9.8%
12 無回答	38	2.8%
合計	2,534	
回答者数	1,335	

複数回答(3つまで)のため、合計は2,534人(票)になりますが、回答者数は1,335人であり、構成比の母数は1,335人を基準とします。



## 性別・年齢別・居住地区別における順位表

### [ 傾向 ]

性別では、全体と同様の項目が上位に挙げられている中で、いずれの項目とも女性の割合が低く、「国民年金に関すること」「保育所の入所や児童手当等、子ども福祉に関すること」「高齢者や障がいのある人の福祉に関すること」での利用が高くなっている。

年齢別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、「国民年金に関すること」が20歳代で第2位に挙げられているほか、「保育所の入所や児童手当等、子ども福祉に関すること」が30～40歳代で第2位、20歳代で第3位と子育て世代で挙げられている。また、70歳以上では他の年齢層に比べて「戸籍、住民票、印鑑登録に関すること」が低くなっている一方で、「国民健康保険に関すること」が高くなっている。

居住地区別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、山川小学校地区や江川北小学校地区で「国民年金に関すること」が第3位に挙げられているほか、江川北小学校地区や江川南小学校地区での「国民健康保険に関すること」が他の地区に比べて高く、特に江川南小学校地区では4割を超えている。

(上段:人数(人) 下段:構成比(%))

		第1位	人数 (構成比)	第2位	人数 (構成比)	第3位	人数 (構成比)
総計		戸籍、住民票、 印鑑登録	959 (71.8)	税証明の発行等	323 (24.2)	国民健康保険	316 (23.7)
性別	男性	戸籍、住民票、 印鑑登録	443 (72.5)	税証明の発行等	178 (29.1)	国民健康保険	150 (24.5)
	女性	戸籍、住民票、 印鑑登録	503 (70.8)	国民健康保険	162 (22.8)	税証明の発行等	143 (20.1)
年齢	20歳代	戸籍、住民票、 印鑑登録	70 (75.3)	国民年金	24 (25.8)	国民健康保険 保育所の入所や 児童手当	17 (18.3)
	30歳代	戸籍、住民票、 印鑑登録	122 (70.9)	保育所の入所や 児童手当	88 (51.2)	税証明の発行等	29 (16.9)
	40歳代	戸籍、住民票、 印鑑登録	137 (74.5)	保育所の入所や 児童手当	58 (31.5)	税証明の発行等	44 (23.9)
	50歳代	戸籍、住民票、 印鑑登録	160 (77.3)	税証明の発行等	52 (25.1)	国民健康保険	42 (20.3)
	60歳代	戸籍、住民票、 印鑑登録	245 (74.0)	税証明の発行等	100 (30.2)	国民健康保険	92 (27.8)
	70歳代以上	戸籍、住民票、 印鑑登録	221 (64.4)	国民健康保険	111 (32.4)	税証明の発行等	90 (26.2)
居住地区	結城小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	259 (75.3)	税証明の発行等	84 (24.4)	国民健康保険	79 (23.0)
	城南小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	200 (82.6)	税証明の発行等	64 (26.4)	国民健康保険	44 (18.2)
	結城西小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	156 (78.4)	国民健康保険	49 (24.6)	税証明の発行等	42 (21.1)
	城西小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	95 (76.0)	国民健康保険	31 (24.8)	税証明の発行等	30 (24.0)
	絹川小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	82 (79.6)	国民健康保険	22 (21.4)	税証明の発行等	21 (20.4)
	上山川小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	61 (77.2)	国民健康保険	17 (21.5)	税証明の発行等	16 (20.3)
	山川小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	30 (35.3)	税証明の発行等	29 (34.1)	国民年金	23 (27.1)
	江川北小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	42 (43.8)	国民健康保険	27 (28.1)	国民年金	25 (26.0)
	江川南小学校地区	戸籍、住民票、 印鑑登録	26 (51.0)	国民健康保険	21 (41.2)	税証明の発行等	18 (35.3)



問 10 . 問 6 で「ある」と答えた方に伺います。本庁舎を訪れて、主にどのような点をご不便に感じましたか。( 3 つまで選んで○をつけてください)

- 1 . 駐車場や駐輪場が少ない
- 2 . 周辺道路が入り組んでいて、狭い
- 3 . 公共交通の利用が不便
- 4 . 本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要がある
- 5 . 窓口や担当部署の位置がわかりづらい
- 6 . 廊下、階段、ロビー、窓口、待合スペースなどが狭い
- 7 . 窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない
- 8 . 市民が自主的な活動で利用できる場所がない
- 9 . 多目的トイレ、授乳室、相談スペースが足りない
- 10 . 段差や階段が多く移動しづらい
- 11 . その他

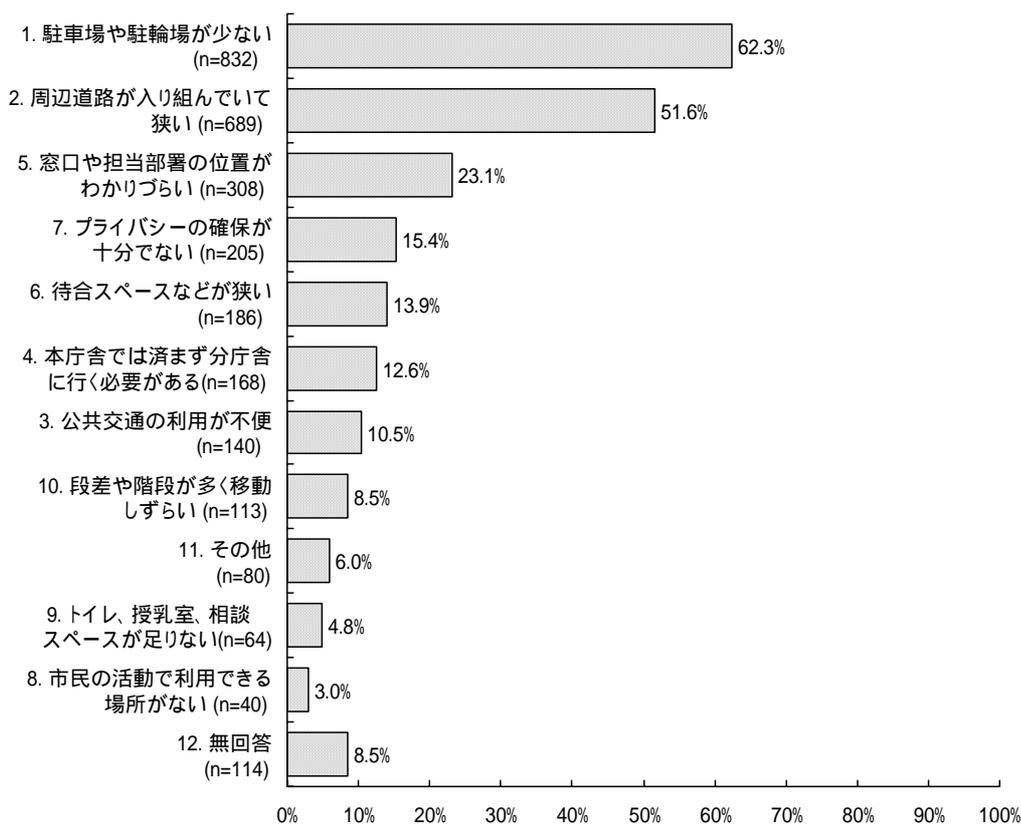
( n = 1,335 )

#### 【傾向】

市役所本庁舎の利用で不便に感じることでは、「駐車場や駐輪場が少ない」が 62.3%で最も多く、次いで「周辺道路が入り組んでいて、狭い」51.6%、「窓口や担当部署の位置がわかりづらい」23.1%、「窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない」15.4%の順となっており、自動車の利用を反映したアクセス性や利用に係わる項目が他の項目よりも高く、次いで庁内での接遇環境についての項目が挙げられている。

選択項目	人数	構成比
1 駐車場や駐輪場が少ない	832	62.3%
2 周辺道路が入り組んでいて、狭い	689	51.6%
3 公共交通の利用が不便	140	10.5%
4 本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などに行く必要がある	168	12.6%
5 窓口や担当部署の位置がわかりづらい	308	23.1%
6 廊下、階段、ロビー、窓口、待合スペースなどが狭い	186	13.9%
7 窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない	205	15.4%
8 市民の自主的な活動で利用できる場所がない。	40	3.0%
9 多目的トイレ、授乳室、相談スペースが足りない	64	4.8%
10 段差や階段が多く移動しづらい	113	8.5%
11 その他	80	6.0%
12 無回答	114	8.5%
合計	2,939	
回答者数	1,335	

複数回答( 3 つまで)のため、合計は 2,939 人( 票)になりますが、回答者数は 1,335 人であり、構成比の母数は 1,335 人を基準とします。



## 性別・年齢別・居住地区別における順位表

### 〔傾向〕

性別では、全体と同様に傾向となっている。

年齢別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、20歳代で「周辺道路が入り組んでいて、狭い」が第1位に挙げられているほか、自転車や徒歩による利用のある70歳以上では「駐車場や駐輪場が少ない」が他の年齢層よりも低くなっている。

居住地区別では、城西小学校地区で「本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要がある」「窓口や担当部署の位置がわかりづらい」窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない」が第3位に挙げられているほか、江川北小学校地区や江川南小学校地区では出張所等の利用により本庁舎の利用も少ないことなどから「周辺道路が入り組んでいて、狭い」が第1位にあげられている。

(上段:人数(人) 下段:構成比(%))

		第1位	人数 (構成比)	第2位	人数 (構成比)	第3位	人数 (構成比)
総計		駐車場や駐輪場が少ない	832 (62.3)	周辺道路が入り組んでいて狭い	689 (51.6)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	308 (23.1)
性別	男性	駐車場や駐輪場が少ない	398 (65.1)	周辺道路が入り組んでいて狭い	332 (54.3)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	140 (22.9)
	女性	駐車場や駐輪場が少ない	428 (60.3)	周辺道路が入り組んでいて狭い	349 (49.2)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	165 (23.2)
年齢	20歳代	周辺道路が入り組んでいて狭い	64 (68.8)	駐車場や駐輪場が少ない	59 (63.4)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	26 (28.0)
	30歳代	駐車場や駐輪場が少ない	114 (66.3)	周辺道路が入り組んでいて狭い	94 (54.7)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	44 (25.6)
	40歳代	駐車場や駐輪場が少ない	112 (60.9)	周辺道路が入り組んでいて狭い	104 (56.5)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	41 (22.3)
	50歳代	駐車場や駐輪場が少ない	144 (69.6)	周辺道路が入り組んでいて狭い	104 (50.2)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	50 (24.2)
	60歳代	駐車場や駐輪場が少ない	218 (65.9)	周辺道路が入り組んでいて狭い	162 (48.9)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	65 (19.6)
	70歳代以上	駐車場や駐輪場が少ない	184 (53.6)	周辺道路が入り組んでいて狭い	158 (46.1)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	82 (23.9)
居住地区	結城小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	182 (52.9)	周辺道路が入り組んでいて狭い	111 (32.3)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	88 (25.6)
	城南小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	152 (62.8)	周辺道路が入り組んでいて狭い	138 (57.0)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	53 (21.9)
	結城西小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	123 (61.8)	周辺道路が入り組んでいて狭い	95 (47.7)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	40 (20.1)
	城西小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	79 (63.2)	周辺道路が入り組んでいて狭い	76 (60.8)	本庁舎では済まず分庁舎にも行く必要がある 窓口や担当部署の位置がわかりづらい プライバシーの確保が十分でない	19 (15.2)
	絹川小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	82 (79.6)	周辺道路が入り組んでいて狭い	60 (58.3)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	23 (22.3)
	上山川小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	58 (73.4)	周辺道路が入り組んでいて狭い	50 (63.3)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	22 (27.8)
	山川小学校地区	駐車場や駐輪場が少ない	57 (67.1)	周辺道路が入り組んでいて狭い	48 (56.5)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	20 (23.5)
	江川北小学校地区	周辺道路が入り組んでいて狭い	66 (68.8)	駐車場や駐輪場が少ない	60 (62.5)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	31 (32.3)
	江川南小学校地区	周辺道路が入り組んでいて狭い	37 (72.5)	駐車場や駐輪場が少ない	35 (68.6)	窓口や担当部署の位置がわかりづらい	11 (21.6)



### 3. 市庁舎の整備方針についてお伺いします。

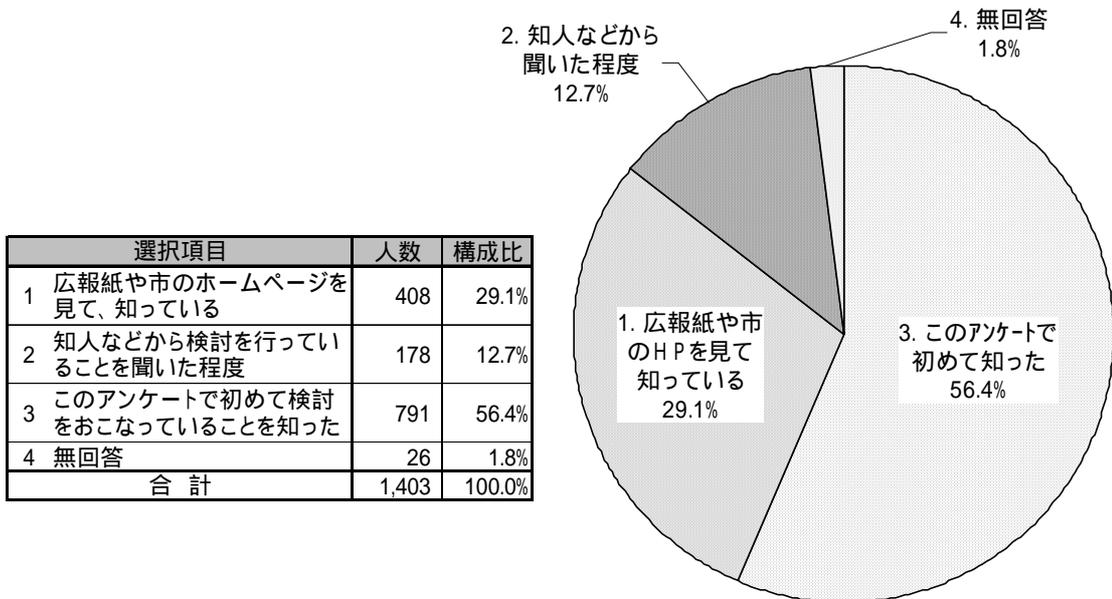
問 11. 市庁舎の整備方針に関する検討は、平成 24 年度から行っています。  
 広報結城や市のホームページで検討経過を公表、お知らせしていますが、  
 ご存知ですか。(1つ選んで○をつけてください)

1. 広報紙や市のホームページを見て、知っている
2. 知人などから検討を行っていることを聞いた程度
3. このアンケートで初めて検討を行っていることを知った

(n = 1,403)

#### 【傾向】

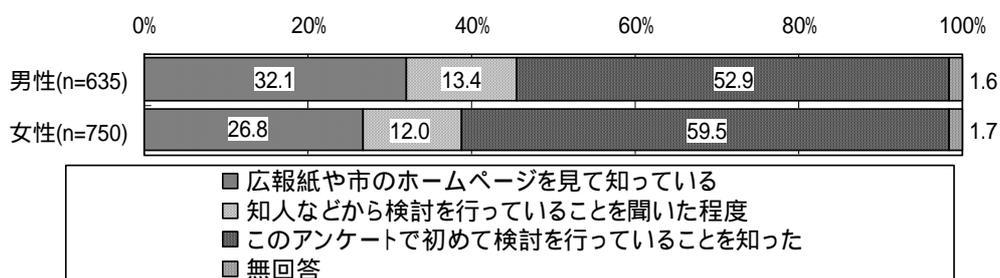
市庁舎の整備方針に関する検討経過の公表についての認知度では、「このアンケートで初めて検討を行っていることを知った」が 56.4%と最も多く、次いで「広報紙や市ホームページを見て、知っている」29.1%、「知人などから検討を行っていることを聞いた程度」12.7%の順となっている。



#### 性別とのクロス集計

#### 【傾向】

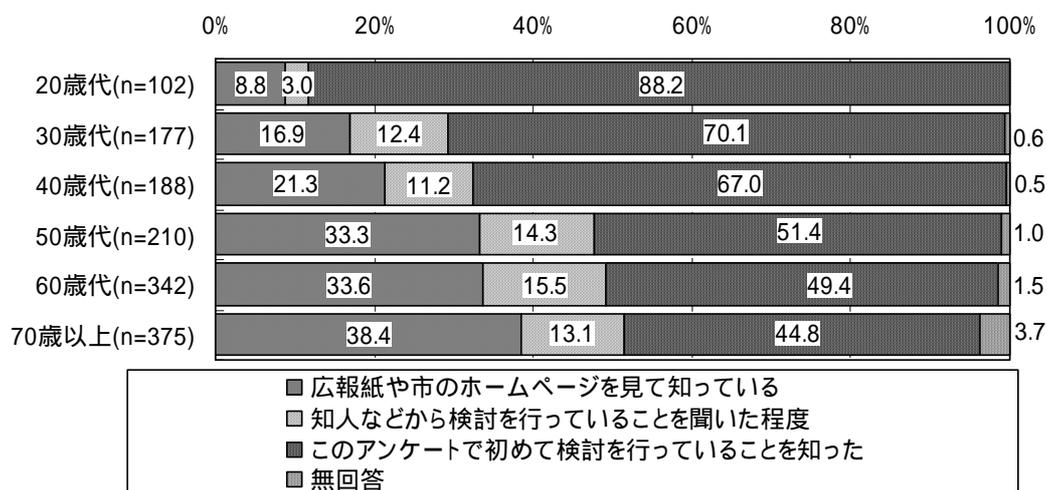
性別では、男性及び女性ともに「このアンケートではじめて検討を行っていることを知った」と回答している人が5割を超えており、特に女性は約6割を占めている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

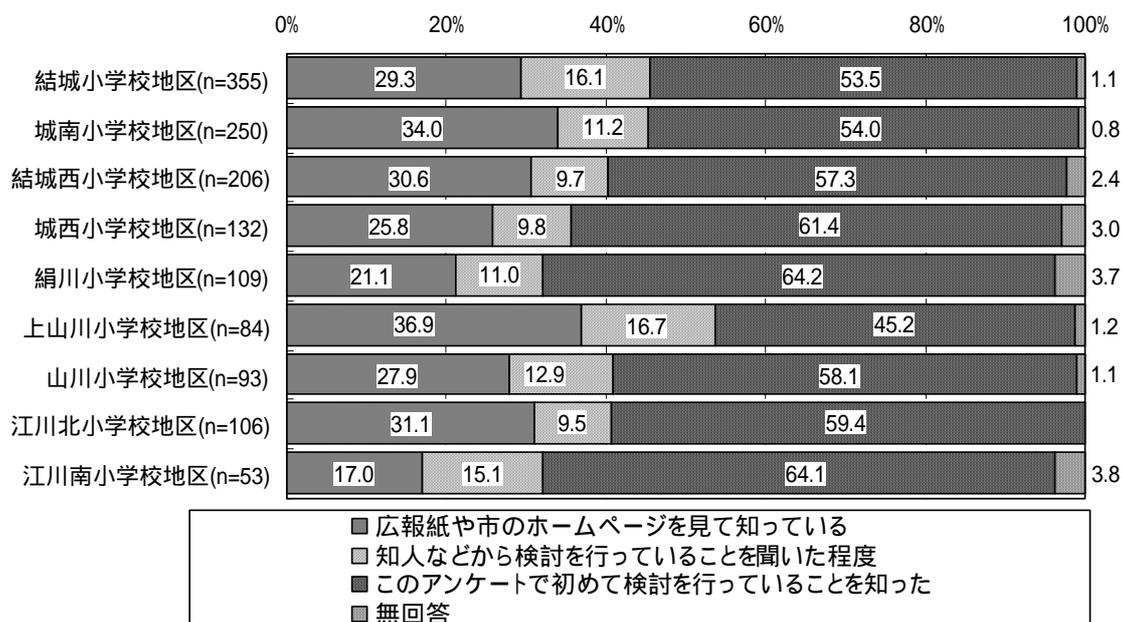
年齢別では、年齢層が高くなるにつれて、広報紙や市のホームページを見て、知っている人の割合が約4割を占めており、行政情報を広報紙やホームページより得ていることがうかがわれる。



## 居住地区とのクロス集計

### [ 傾向 ]

居住地区別では、上山川小学校地区や城南小学校地区、江川北小学校地区、結城西小学校地区では「広報紙や市のホームページを見て、知っている」が3割を超え、他の地区よりも高くなっている。特に、上山川小学校地区では、「知人などから聞いた」も含めると5割を超える人が認知している。



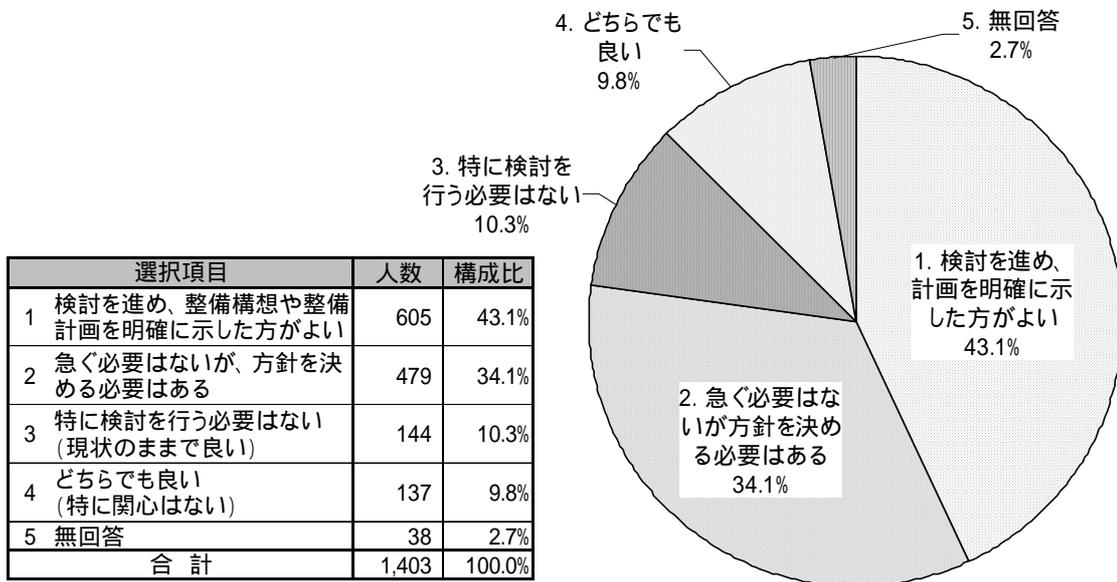
問 12 . 市庁舎の整備方針の検討を行うことについて、あなたの考えをお聞かせください。( 1つ選んで○をつけてください)

- 1 . 検討を進め、整備構想や整備計画を明確に示した方がよい
- 2 . 急ぐ必要はないが、方針を決める必要がある
- 3 . 特に検討を行う必要はない(現状のままで良い)
- 4 . どちらでも良い(特に関心はない)

( n = 1,403 )

**【傾向】**

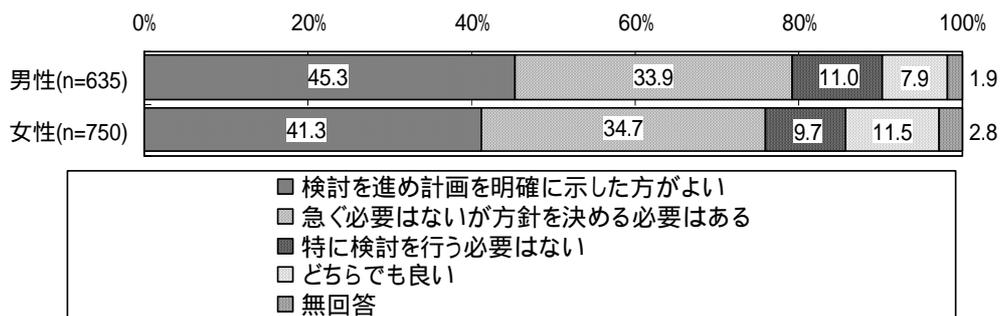
整備方針の検討を行うことについては、「検討を進め、整備構想や整備計画を明確に示した方がよい」43.1%、「急ぐ必要はないが、方針を決める必要がある」34.1%となっており、7割を超える人が必要であると感じている。



**性別とのクロス集計**

**【傾向】**

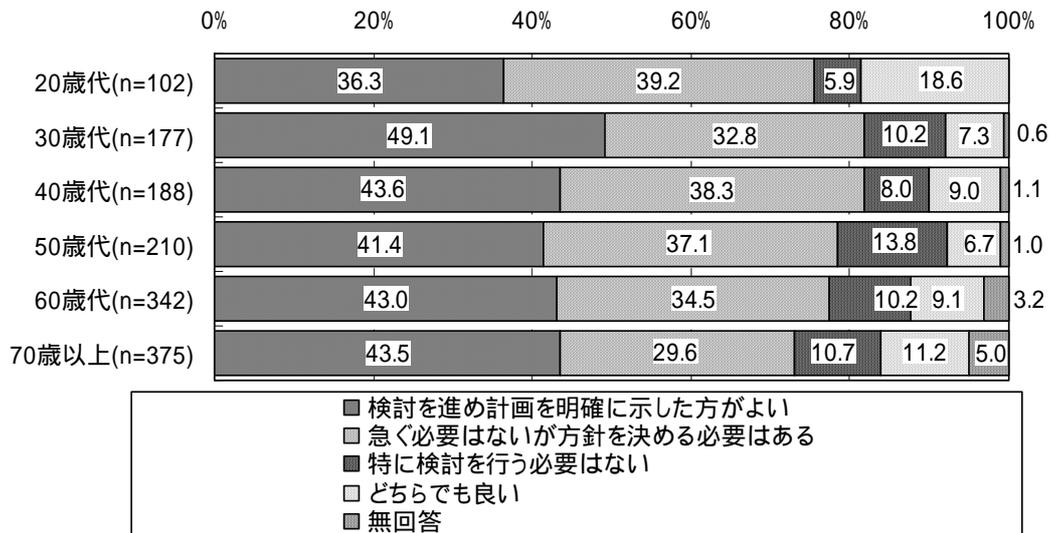
性別では、男性及び女性ともに約8割の人が検討を行うことは必要であると感じているが、男性は「検討を進め、計画を明確に示した方がよい」、女性は「急ぐ必要はないが、方針を決める必要がある」が高くなっている。



## 年齢とのクロス集計

### [傾向]

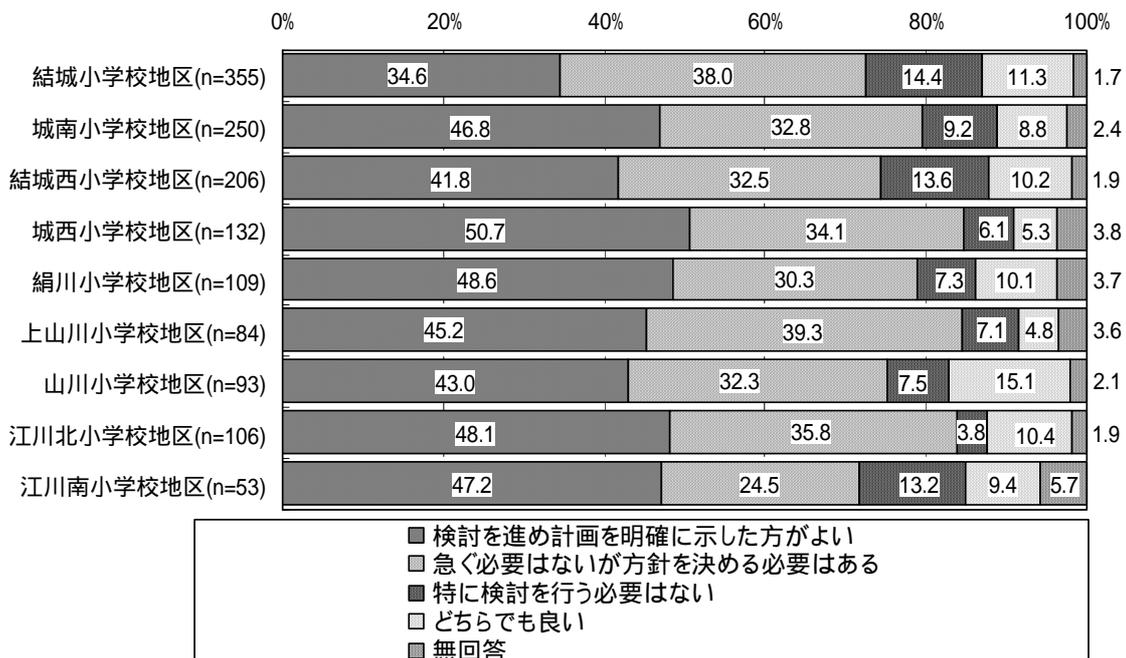
年齢別では、いずれの年齢層においても7割を超える人が検討を行うことは必要であると感じており、特に30～40歳代では8割を超えている。また、30歳代以上では「検討を進め、計画を明確に示した方がよい」が4割を超え、30歳代では約5割を占めている。



## 居住地区とのクロス集計

### [傾向]

居住地区別にみると、いずれの地区においても7割を超える人が検討を行うことは必要であると感じており、特に城西小学校地区や上山川小学校地区、江川北小学校地区では8割を超えている。また、結城小学校地区を除く地区では「検討を進め、計画を明確に示した方がよい」が4割を超え、城西小学校地区は5割を占めている。



問 13 . 今後 , 現在の市庁舎をどのようにしたら良いと思いますか。  
 あなたの考えにもっとも近いものを選択し , その理由をお聞かせください。  
 ( 1 つ選んで○をつけてください )

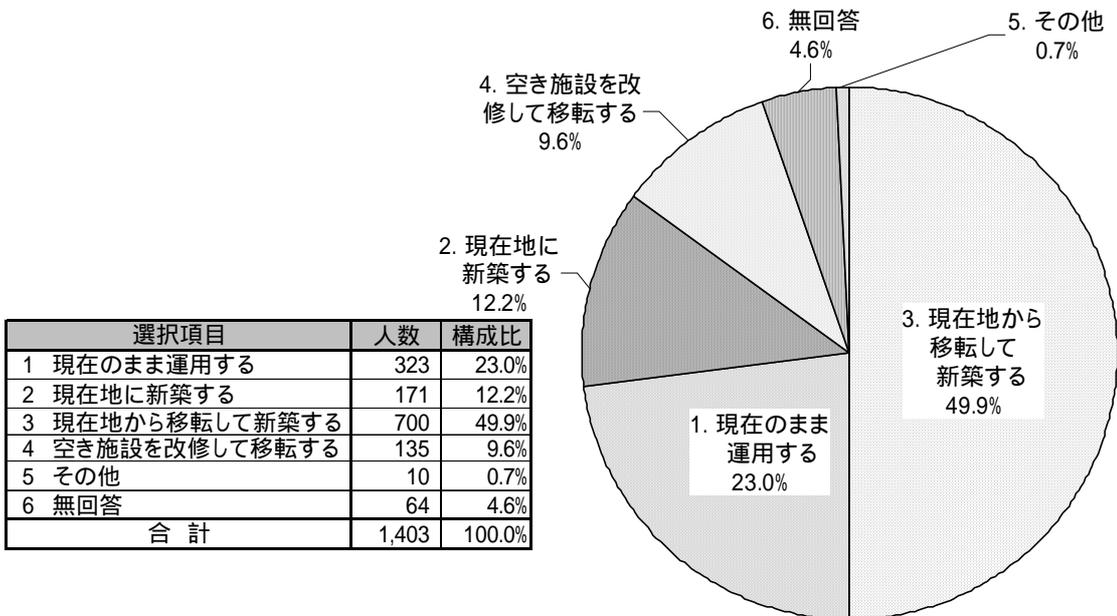
1 . 現在のまま運用する ( 設備機器の故障や震災等により損壊した場合は , その都度修繕などで対応する )	} 問 15 ( 8 ページ ) へ お進みください
2 . 現在地に新築する。( 建替えや増改築を含む )	
3 . 現在地から移転して , 新築する	} 問 14 へお進みくだ さい
4 . 空き施設を改修して , 移転する	
5 . その他 ( )	
理由 .....	
.....	
.....	

( n = 1,403 )

**[ 傾向 ]**

現在の市庁舎のあり方については、「現在地から移転して、新築する」が 49.9% で最も多く、次いで「現在のまま運用する」23.0%、「現在地に新築する」12.2%、「空き施設を改修して、移転する」9.6%の順となっており、現在地より移転した方が良いと考える人が約 6 割を占めている。

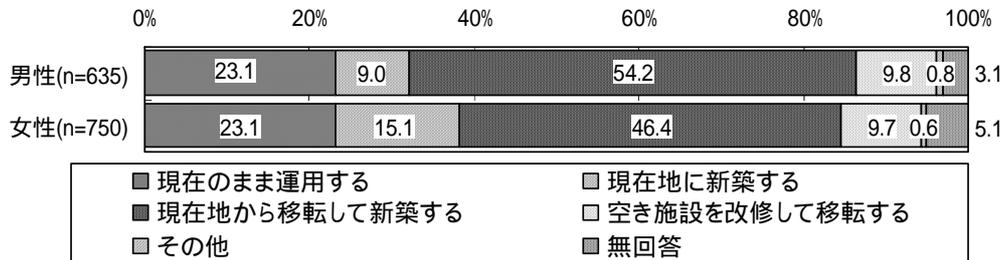
また、現在地及び現在地からの移転を含めて、市庁舎を新築した方が良いと考える人が 6 割を超えている。



## 性別とのクロス集計

### [ 傾向 ]

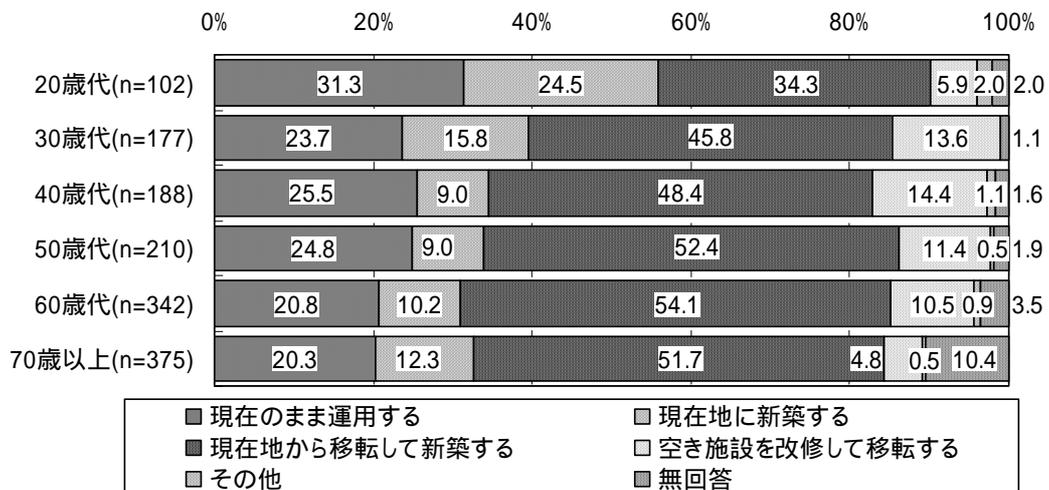
性別では、男性及び女性ともに6割が現在地より移転した方が良いと考えている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

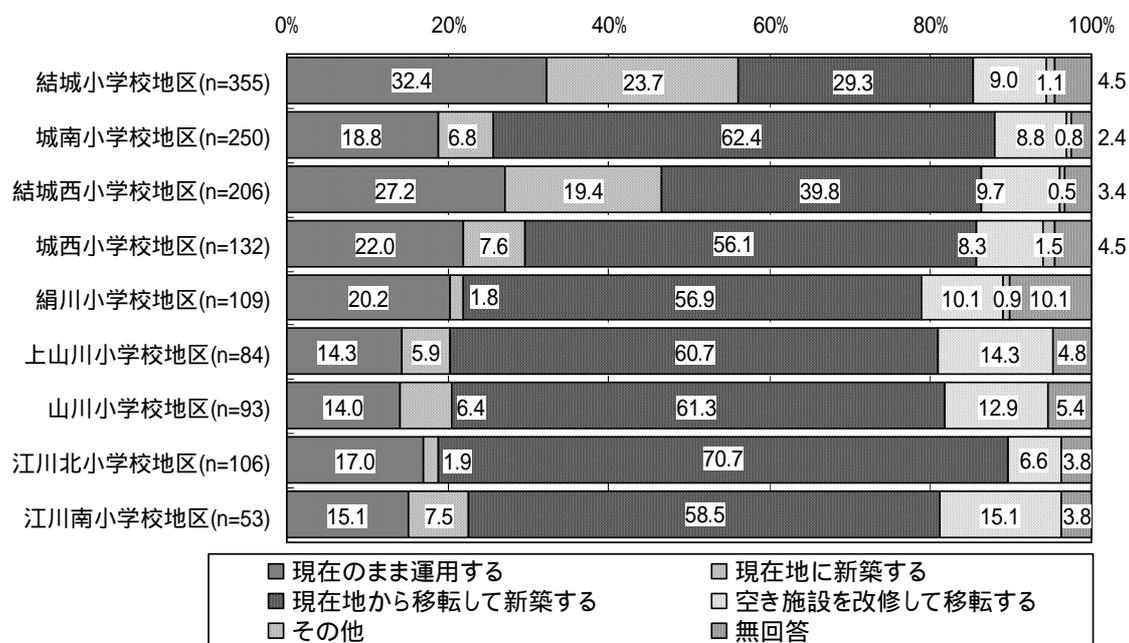
年齢別では、40～60歳代では6割を超える人、30歳代や70歳代では約6割りの人が、現在地より移転した方がよいと考えている一方で、20歳代は現在地での運用や新築の方が良いが約6割を占め、特に、「現在地に新築する」が2割を超え、他の年齢層よりも高くなっている。



## 居住地区とのクロス集計

### [ 傾向 ]

居住地区別では、結城小学校地区で約 6 割、結城西小学校地区で約 5 割の人が現在地での運用や新築の方が良いと考えている一方で、その他の地区では約 7 割の人が現在地より移転した方が良いと考えている。



## 選択の理由

### 現在のまま運用する

主な意見	票数
・財政的に厳しいから	24 票
・今のままで不自由なく利用できるから	13 票
・税金の無駄遣いになるから	11 票
・修繕すれば利用できるから	7 票
・増税になるから	4 票
・自宅より近いから	4 票
合 計	63 票

### 現在地に新築する

主な意見	票数
・自宅より近いから	13 票
・現在地が慣れているから	11 票
・老朽化が進んでいるから	4 票
・新たな土地を取得する必要がないから	3 票
・高層化し、効率的にするため	3 票
合 計	34 票

### 現在地から移転して、新築する

主な意見	票数
・建物や駐車場のスペース不足のため	53 票
・道がわかりづらく、不便だから	51 票
・北部に偏り不便だから	50 票
・道が狭くて不便だから	42 票
・市の中心にしてほしいから	27 票
・交通の便が悪く、不便だから	18 票
・機能を集約化するため	16 票
・災害に強い建物とするため	12 票
・災害時の防災拠点とするため	10 票
・老朽化が進んでいるため	10 票
合 計	289 票

### 空き施設を改修し、移転する

主な意見	票数
・既存の施設を有効活用する	15 票
・新築は費用がかかるため	15 票
・財政的に厳しいから	7 票
・建物や駐車場のスペース不足のため	6 票
・道がわかりづらく、不便だから	5 票
合 計	48 票

問 14 . 問 13 で「 3 . 現在地から移転して , 新築する」または「 4 . 空き施設を改修して , 移転する」を選んだ方にお聞きします。

(ア) 市庁舎の位置又は移転先はどのあたりが適切だと思いますか。

また , その理由もお聞かせください。( 1 つ選んで○をつけてください)

1 . 市の北部市街地エリア ( 現在の市役所周辺の市街地やその周辺 )

2 . 市の南部市街地エリア ( アクロス周辺の市街地やその周辺 )

3 . その他又は具体的な場所などがあればご記入ください

( )

理由.....

.....

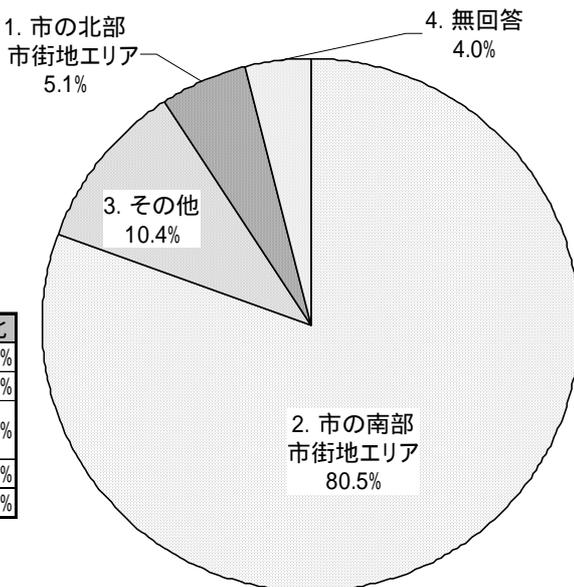
.....

( n = 835 )

**[ 傾向 ]**

市庁舎の位置又は移転先については、「市の南部市街地エリア」が 80.5%と最も多く、次いで「その他」10.4%、「市の北部市街地エリア」5.1%の順となっており、「その他」の記載では国道 50 号以南、しるくろーど、結城駅周辺、鹿窪運動公園付近等が候補地として挙げられている。

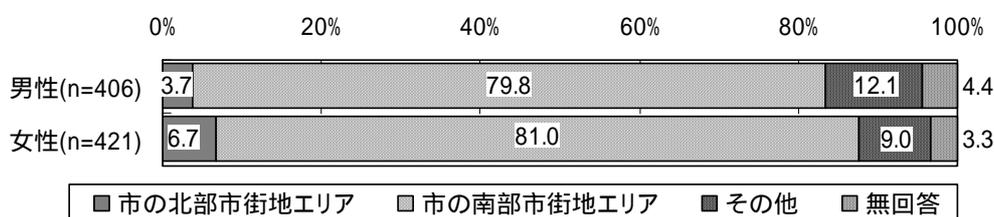
選択項目	人数	構成比
1 市の北部市街地エリア	43	5.1%
2 市の南部市街地エリア	672	80.5%
3 その他又は具体的な場所があればご記入ください	87	10.4%
4 無回答	33	4.0%
合計	835	100.0%



**性別とのクロス集計**

**[ 傾向 ]**

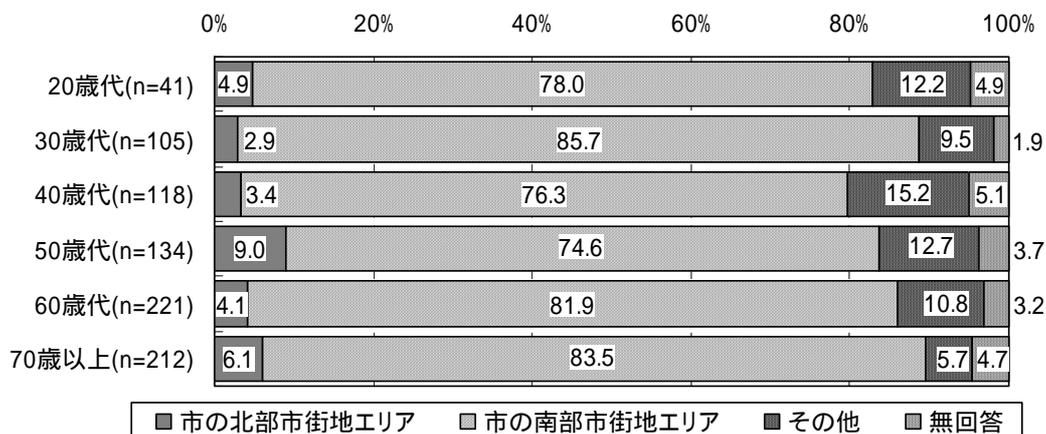
性別では、男性及び女性ともに 8 割の人が市の南部市街地エリア ( アクロス周辺の市街地やその周辺 ) が市庁舎の移転先の適地であると考えている。



## 年齢とのクロス集計

### [ 傾向 ]

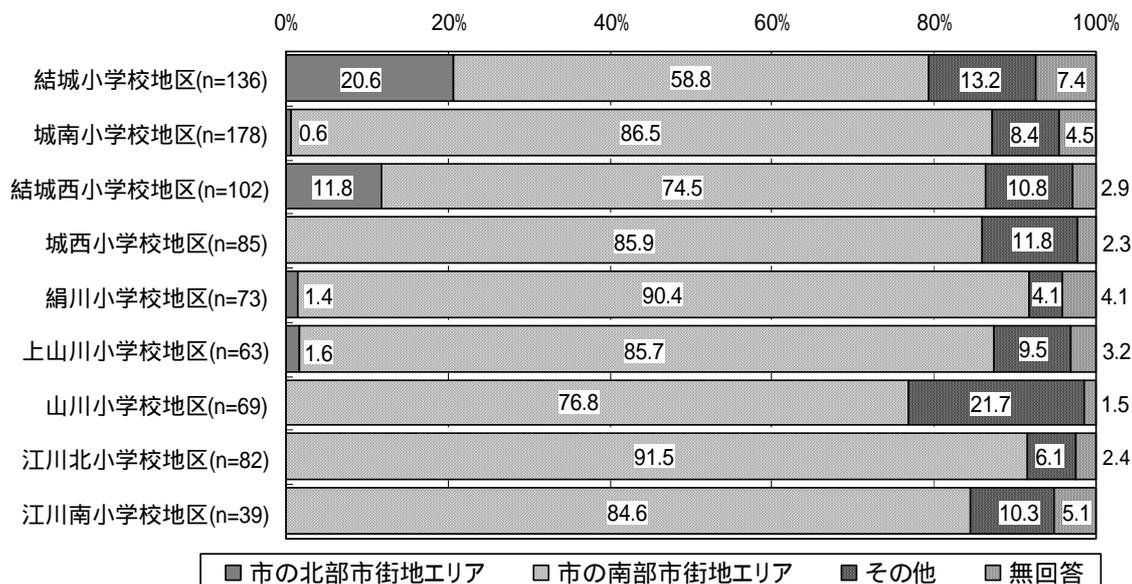
年齢別では、いずれの年齢層ともに7割を超える人が市の南部市街地エリアが市庁舎の移転先の適地であると考えており、特に30歳代や60歳代以上で8割を超えている。



## 居住地区とのクロス集計

### [ 傾向 ]

居住地区別では、結城小学校地区や結城西小学校地区では市の北部市街地エリア（現在の市役所周辺の市街地やその周辺）が挙げられてほか、その他の地区では7割を超える人が市の南部市街地エリアが適地として挙げられており、特に江川小学校地区や絹川小学校地区では9割を超えている。また、城西小学校地区や山川小学校地区、江川北小学校地区、江川南小学校地区では、適地として市の北部市街地エリアは選択されていないことから、南部市街地エリアへの立地が期待されている。



## 選択の理由

### 市の北部市街地エリア

主な意見	票数
・現在地を含めた北部市街地	17 票
・街並みを活かす結城らしい庁舎	3 票
・トライアル跡地	2 票
・情報センター	1 票
・四ツ京周辺	1 票
・中央公民館に移転	1 票
・現庁舎はわかりづらい	1 票
合 計	26 票

### 市の南部市街地エリア

主な意見	票数
・アクロス周辺	177 票
・南部市街地	37 票
・国道 50 バイパス周辺	25 票
・北部は道が狭いため	22 票
・現庁舎は北部に偏っているため	20 票
・現庁舎はわかりづらいため	16 票
・駅周辺	13 票
・市の中心部・中央部	11 票
合 計	321 票

### その他

主な意見	票数
・市の中心部・中央部	13 票
・南部	13 票
・しるくろーど	8 票
・現庁舎は北部に偏っているため	6 票
合 計	40 票



(イ) 現在地から移転し、市庁舎を整備・建設する場合に、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまで選んで○をつけてください)

1. 市役所周辺に公共施設があること
2. 地理的に(市の地形から)みて、市の中心に近いこと
3. 人口の分布状況からみた中心地(人口重心地)に近いこと
4. 公共交通(電車, バス)の利便性が良いこと
5. 車などでの利便性(道路幅員が広くアクセスしやすい)が良いこと
6. 周辺と調和し、地域の活性化に貢献すること
7. 災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること
8. 建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること
9. 将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること
10. 執務スペースが将来に対応できるように十分に確保されていること
11. 長期にわたり使用できること
12. その他

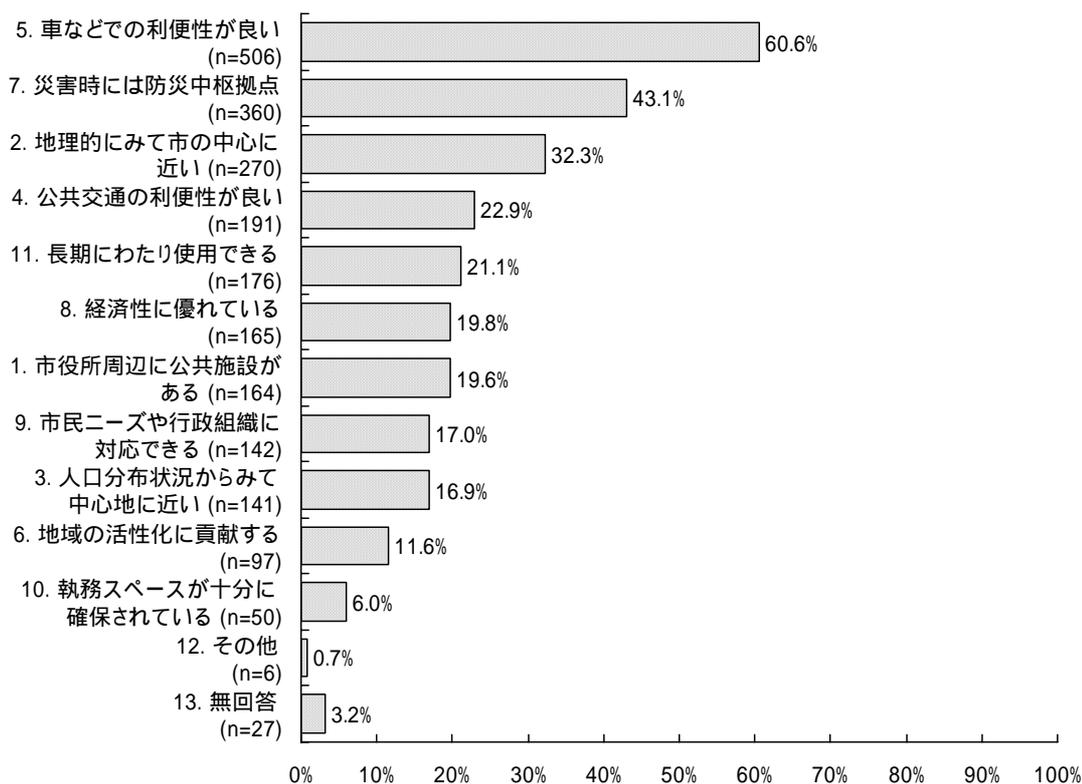
(n = 835)

#### [傾向]

市庁舎を現在地から移転して整備・建設する際に大切だと思うことについては、「車などでの利便性が良いこと」が60.6%で最も多く、次いで「災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること」43.1%、「地理的にみて、市の中心に近いこと」32.3%、「公共交通の利便性が良いこと」22.9%、「長期にわたり使用できること」21.1%の順となっており、現在の市庁舎を利用する上での問題の解消や東日本大震災等の災害にも対応できる施設としての整備が期待されている。

選択項目	人数	構成比
1 市役所周辺に公共施設があること	164	19.6%
2 地理的にみて、市の中心に近いこと	270	32.3%
3 人口分布状況からみて中心地に近いこと	141	16.9%
4 公共交通の利便性が良いこと	191	22.9%
5 車などでの利便性がよいこと	506	60.6%
6 周辺と調和し、地域の活性化に貢献すること	97	11.6%
7 災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること	360	43.1%
8 建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること	165	19.8%
9 将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること	142	17.0%
10 執務スペースが将来に対応できるように十分に確保されていること	50	6.0%
11 長期にわたり使用できること	176	21.1%
12 その他	6	0.7%
13 無回答	27	3.2%
合計	2,295	
回答者数	835	

複数回答(3つまで)のため、合計は2,295人(票)になりますが、回答者数は835人であり、構成比の母数は835人を基準とします。



## 性別・年齢別・居住地区別における順位表

### [ 傾向 ]

性別では、全体と同様な傾向となっているなかで、男性では「車などでの利便性が良いこと」、女性では「災害時の防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること」が高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層においても「車などでの利便性が良いこと」が第1位となっているが、年齢層が高くなるにつれて低くなってきている。また、70歳以上で「地理的にみて、市の中心に近いこと」が第2位、20歳代で「公共交通の利便性が良いこと」が第3位に挙げられている。

居住地区別では、上山川小学校地区や山川小学校地区、江川北小学校地区、江川南小学校地区で「地理的にみて、市の中心に近いこと」が4割を超えており、他の地区よりも期待が高くなっている。また、結城西小学校地区や絹川小学校地区で「長期にわたり使用できること」、結城小学校地区で「公共交通の利便性が良いこと」、山川小学校地区で「将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること」が期待されている。

(上段:人数(人) 下段:構成比(%))

		第1位	人数 (構成比)	第2位	人数 (構成比)	第3位	人数 (構成比)
総計		車などでの利便性が 良い	506 (60.6)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	360 (43.1)	市の中心に近い	270 (32.3)
性別	男性	車などでの利便性が 良い	258 (63.5)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	149 (36.7)	市の中心に近い	134 (33.0)
	女性	車などでの利便性が 良い	242 (57.5)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	204 (48.5)	市の中心に近い	133 (31.6)
年齢	20歳代	車などでの利便性が 良い	28 (68.3)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	16 (39.0)	公共交通の利便性 が良い	14 (34.1)
	30歳代	車などでの利便性が 良い	71 (67.6)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	53 (50.5)	市の中心に近い	33 (31.4)
	40歳代	車などでの利便性が 良い	80 (67.8)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	46 (39.0)	経済性に優れている こと	35 (29.7)
	50歳代	車などでの利便性が 良い	86 (64.2)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	67 (50.0)	市の中心に近い	42 (31.3)
	60歳代	車などでの利便性が 良い	134 (60.6)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	104 (47.1)	市の中心に近い	72 (32.6)
	70歳代以上	車などでの利便性が 良い	104 (49.1)	市の中心に近い	79 (37.3)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	72 (34.0)
居住地区	結城小学校地区	車などでの利便性が 良い	66 (48.5)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	57 (41.9)	公共交通の利便性 が良い	45 (33.1)
	城南小学校地区	車などでの利便性が 良い	106 (59.6)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	81 (45.5)	市の中心に近い	54 (30.3)
	結城西小学校地区	車などでの利便性が 良い	59 (57.8)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	40 (39.2)	長期にわたり使用 できる	28 (27.5)
	城西小学校地区	車などでの利便性が 良い	58 (68.2)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	33 (38.8)	市の中心に近い	24 (28.2)
	絹川小学校地区	車などでの利便性が 良い	51 (69.9)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	35 (47.9)	長期にわたり使用 できる	20 (27.4)
	上山川小学校地区	車などでの利便性が 良い	32 (50.8)	市の中心に近い	29 (46.0)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	25 (39.7)
	山川小学校地区	車などでの利便性が 良い	49 (71.0)	市の中心に近い 防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	28 (40.6)	市民ニーズや行政 組織の変化に柔軟 に対応できる	16 (23.2)
	江川北小学校地区	車などでの利便性が 良い	57 (69.5)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	43 (52.4)	市の中心に近い	34 (41.5)
	江川南小学校地区	車などでの利便性が 良い	26 (66.7)	市の中心に近い	18 (46.2)	防災中枢拠点となり 救援を的確に行える	16 (41.0)



(ウ)現在の場所から移転し、市庁舎を建設する場合は、現在の建物や跡地を、どのようにしたら良いか、あなたのお考えをお聞かせください。  
(2つまで選んで○をつけてください)

1. 歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流施設
2. 生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などができる施設  
(コミュニティ施設や公民館施設など)
3. 子育てや高齢者などのための福祉施設
4. 観光客や買い物客のための市営駐車場
5. 個人や企業などへ売却、または賃貸により民間へ貸し出す
6. 国や県の施設を誘致
7. その他

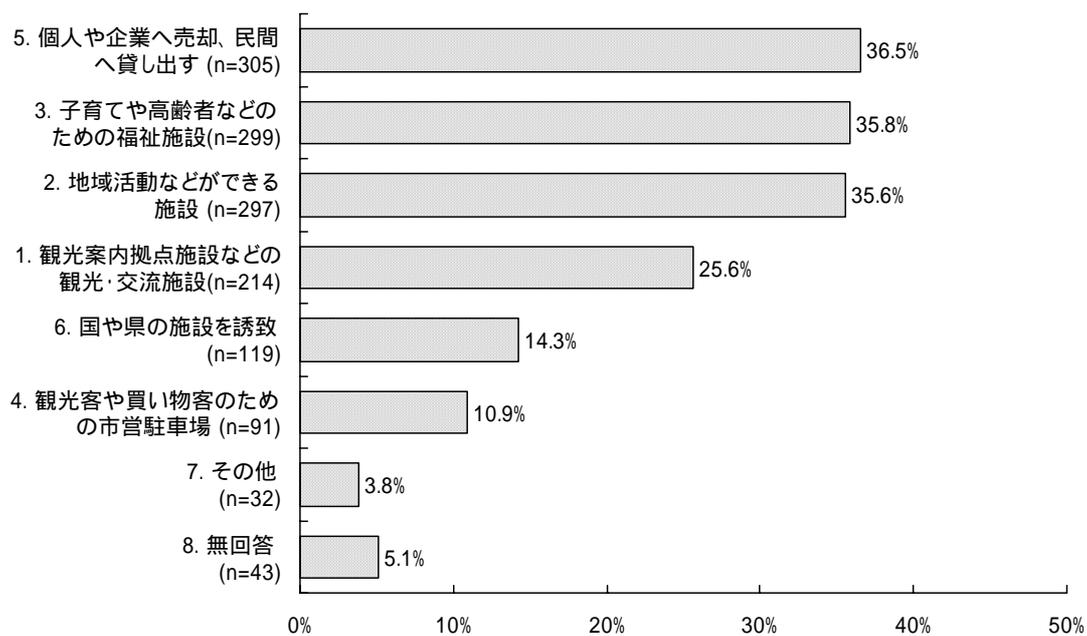
(n = 835)

### 〔傾向〕

市庁舎を現在の場所から移転して建設する際の現在の建物や跡地については、「個人や企業などへ売却、または賃貸により民間へ貸し出す」が36.5%で最も多く、次いで「子育てや高齢者などのための福祉施設」35.8%、「生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などができる施設」35.6%、「歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流施設」25.6%の順で上位に挙げられており、建物や土地の有効利用を図るため、売却や賃貸による財源の確保や目的に応じた拠点施設としての利用が期待されている。

選択項目	人数	構成比
1 歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流施設	214	25.6%
2 生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などができる施設	297	35.6%
3 子育てや高齢者などのための福祉施設	299	35.8%
4 観光客や買い物客のための市営駐車場	91	10.9%
5 個人や企業などへ売却、または賃貸により民間へ貸し出す	305	36.5%
6 国や県の施設を誘致	119	14.3%
7 その他	32	3.8%
8 無回答	43	5.1%
合計	1,400	
回答者数	835	

複数回答(2つまで)のため、合計は1,400人(票)になりますが、回答者数は835人であり、構成比の母数は835人を基準とします。



## 性別・年齢別・居住地区別における順位表

### 【傾向】

性別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、「生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などの施設」が女性で第1位となっており、身近な地区での様々な活動の拠点としての利用が期待されている。

年齢別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、20歳代や40歳代で現在の庁舎を活かした「歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流拠点」が第3位になっておりほか、20歳代や70歳以上で日常生活や暮らしのなかで身近な問題ともなっている「子育てや高齢者などのための福祉施設」が第1位となっており、子育て世代や高齢者が利用のできる施設としての活用が期待されている。

居住地区別では、全体と同様の項目が上位に挙げられているなかで、「歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流拠点」が結城小学校地区で第2位、結城西小学校地区や城西小学校地区、江川南小学校地区で第3位に挙げられている。

(上段:人数(人) 下段:構成比(%))

		第1位	人数 (構成比)	第2位	人数 (構成比)	第3位	人数 (構成比)
総計		個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	305 (36.5)	子育てや高齢者の ための福祉施設	299 (35.8)	地域活動などが できる施設	297 (35.6)
性別	男性	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	174 (42.9)	子育てや高齢者の ための福祉施設	129 (31.8)	地域活動などが できる施設	123 (30.3)
	女性	地域活動などが できる施設	170 (40.4)	子育てや高齢者の ための福祉施設	165 (39.2)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	128 (30.4)
年齢	20歳代	子育てや高齢者の ための福祉施設	17 (41.5)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	13 (31.7)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設 地域活動などが できる施設	12 (29.3)
	30歳代	地域活動などが できる施設	46 (43.8)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	38 (36.2)	子育てや高齢者の ための福祉施設	32 (30.5)
	40歳代	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	49 (41.5)	地域活動などが できる施設	38 (32.2)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設	36 (30.5)
	50歳代	地域活動などが できる施設	61 (45.5)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	54 (40.3)	子育てや高齢者の ための福祉施設	46 (34.3)
	60歳代	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	82 (37.1)	子育てや高齢者の ための福祉施設	75 (33.9)	地域活動などが できる施設	69 (31.2)
	70歳代以上	子育てや高齢者の ための福祉施設	94 (44.3)	地域活動などが できる施設	69 (32.5)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	68 (32.1)
居住地区	結城小学校地区	地域活動などが できる施設 子育てや高齢者の ための福祉施設	51 (37.5)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設	38 (27.9)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	37 (27.2)
	城南小学校地区	地域活動などが できる施設	67 (37.6)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	61 (34.3)	子育てや高齢者の ための福祉施設	60 (33.7)
	結城西小学校地区	地域活動などが できる施設 子育てや高齢者の ための福祉施設	36 (35.3)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	33 (32.4)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設	29 (28.4)
	城西小学校地区	子育てや高齢者の ための福祉施設 個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	35 (41.2)	地域活動などが できる施設	26 (30.6)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設	21 (24.7)
	絹川小学校地区	子育てや高齢者の ための福祉施設	30 (41.1)	地域活動などが できる施設	29 (39.7)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	28 (38.4)
	上山川小学校地区	子育てや高齢者の ための福祉施設	25 (39.7)	地域活動などが できる施設	24 (38.1)	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	21 (33.3)
	山川小学校地区	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	30 (43.5)	地域活動などが できる施設	27 (39.1)	子育てや高齢者の ための福祉施設	23 (33.3)
	江川北小学校地区	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	35 (42.7)	子育てや高齢者の ための福祉施設	27 (32.9)	地域活動などが できる施設	26 (31.7)
	江川南小学校地区	個人や企業へ売却 賃貸により民間へ 貸し出す	23 (59.0)	地域活動などが できる施設 子育てや高齢者の ための福祉施設	9 (23.1)	観光案内拠点施設 等の観光・交流施設	7 (17.9)

### 3. 自由意見

今回の市庁舎の整備方針に関する市民アンケート調査についてのご意見やご提案については、調査回答者数 1,403 票のうち、568 票（40.5%）で意見が寄せられました。

#### 市庁舎整備に対する肯定的な意見（賛成）

主な意見	票数
・南側の中心地に建設する	53 票
・駐車場や交通の利便性を高める	42 票
・災害に対応できる建物とする	30 票
・北側の現在地に建設する	25 票
・限られた予算内で建設する	23 票
・機能的でシンプルな建物とする	20 票
・食堂やカフェ，利用スペースのある建物とする	10 票
・早期実現を図る	20 票
・バリアフリー化した建物とする	19 票
・結城市らしい建物とする	18 票
・機能を集約化した建物とする	17 票
・他の施設も集約した建物とする	15 票
・近代的な建物（シンボル）とする	7 票
・明るく清潔感のある建物とする	5 票
・低層の建物とする	4 票
・高層化する	3 票
・省エネで節電できる建物とする	7 票
・業者等の選定	3 票
合 計	321 票

#### 市庁舎整備に対する否定的な意見（反対）

主な意見	票数
・今のままで良い	28 票
・建て替え以外は反対	23 票
・財政的に困難，税金の無駄	61 票
・他に行うべきことがある	27 票
・急ぐ必要はない	15 票
・将来に借金を残したくない	9 票
合 計	163 票

#### その他

主な意見	票数
・職員の対応	40 票
・アンケート調査等で意見を聞く	15 票
・インフラの整備	19 票
・その他	10 票
合 計	84 票

## 4.まとめ

### 1)回答者の属性について

本アンケート調査においては、標本数 3,000 票に対し、有効回収数 1,403 票であり、回収率は 46.8%という結果となっている。

これまでに同種のアンケート調査となる第 5 次結城市総合計画策定における市民アンケート調査よりも高い回答率となっており、結城市民の率直な意向や意見を把握することができたものと考えられる。

回答者の属性については、男女比が 635 票 (45.3%) : 750 票 (53.7%)、無回答 1.2%となっており、女性の回答が男性よりも回答率で 1.9 ポイント、票数で 115 票多くなっている。

また、年齢別では、20 歳代から 50 歳代までの生産年齢人口で約 50% (48.3%)、60 歳代以上の年齢で 5 割 (51.1%) となっており、本調査における高齢者からの回答比率が比較的高くなっている。こうしたことから、職業において「無職」の回答が全体の 26.4%を占めているものと考えられる。

なお、職業については、会社員と専業主婦 (主夫)、パート・アルバイトで約 5 割 (49.8%) を占め、それに無職の人の占める割合を加えると、全体の約 8 割 (76.2%) となる。

回答者の居住年数では、30 年以上が 67.8%と最も高くなっているが、20 年から 30 年未満の居住の人を加えると 81.9%となり、古くから結城市に居住している人 (市役所利用者) が回答していることになり、本調査の回答内容における信頼度は高いものと考えられる。

さらに、回答者の居住地区については、市内の各小学校地区ごとの集計では、いずれの小学校地区も回収率が 40%台となっており、大きな偏りは見られず、回答属性としては良好な結果であると考えられる。

## 2) 現在の市庁舎の利用状況や印象について

本庁舎の利用状況については、回答者の 95.2%の人が本庁舎を利用したことがある回答している。このなかで、本庁舎の利用頻度をみると、年 2～3 回が 39.3%、年 4～6 回が 19.2%、年 7～9 回が 4.5%となっていることから、年 9 回以内の利用者が全体の 6 割となる結果となっている。

こうしたことから、市民にとって利用しやすい本庁舎とすることは、より良い市民サービスを提供していくことにつながるものと考えられる。

本庁舎へのアクセス・交通手段については、本庁舎を利用したことがある人（1,335 人）のうち 81.9%（1,093 人）が自家用車の利用であり、10.9%（145 人）が自転車利用、残りの 2%が徒歩（31 人）、無回答（37 人）となっている。

また、小学校地区別の交通手段の割合をみると、結城小学校地区で自家用車が 65.4%、自転車が 21.5%、徒歩が 8.4%となっており、城南小学校地区や結城西小学校地区では自家用車が 82.9～84.7%、自転車で 10.6～12.8%、徒歩で 0.4～0.5%を構成し、それ以外の小学校地区では、自家用車の利用が 9 割を超える状況となっている。さらに、結城小学校地区以外の小学校地区では、自家用車の保有率も高い地区であることも要因であると考えられるが、本庁舎へのアクセス手段が限定されている。

本庁舎の利用する主な目的では戸籍、住民票、印鑑登録に関することが 71.8%（959 人）、税証明の発行等に関することが 24.2%（323 人）、国民健康保険が 23.7%（316 人）、国民年金が 17.8%（237 人）となっており、市役所の窓口での届け出や手続きが必要とされるものとなっている。また、年齢別では子育て世代となる 20～40 歳代で、保育所の入所や児童手当等、子ども福祉に関することが挙げられている。

本庁舎の利用で不便を感じることにについては、自家用車での利用頻度が高いことから、駐車場や駐輪場が少ないが 62.3%（832 人）、周辺道路が入り組んでいて、狭いが 51.6%（689 人）と圧倒的に多くなっており、現在の本庁舎を利用する上での問題として捉えられている。また、窓口や担当部署の位置がわかりづらいが 23.1%（308 人）、窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でないが 15.4%（205 人）、廊下、階段、ロビー、窓口、待合スペースなどが狭いが 13.9%（186 人）と具体的手続き等を行う上での利用環境が挙げられている。

### 3) 市庁舎の整備方針について

本調査において全体の 56.4% (791 人) が今回のアンケート調査で、市庁舎の整備についての検討を行っていることを初めて知ったと回答していることから、この点については、市民への周知の方法や回数等の検討する必要もあることがわかった。

市庁舎の整備方針の検討を行うことについては、検討を進め、整備構想や整備計画を明確に示す方が良い捉えている人が 43.1% (605 人)、急ぐ必要はないが、方針を決める必要があると捉えている人が 10.3% (144 人) となっており、全体として方針を定めることについては 77.2% (1,084 人) の必要であると回答しており、市庁舎の整備方針の検討を行うことに対する関心度は高いものであると考えられる。

今後の市庁舎のあり方については、現在地から移転・新築が 49.9% (700 人)、既存建物を維持・改修が 23.0% (323 人)、現在地に新築が 12.2% (171 人)、空き施設の改修・移転が 9.5% (135 人) となっている。このことは「新築」という観点で見ると 62.1% (871 人) が新築の意向となり、「移転」という観点で見ると 59.4% (835 人) が移転の意向を持っていると判断することもできるため、今後とも具体的な検討を行いながら、方針を定めていくことが必要になるものと考えられる。

また、移転を選択している人 (835 人) からの回答としては、市の南部市街地エリアとの回答が 80.5% (672 人) となっており、アクロス周辺を含めた市南部地域や、国道 50 号バイパス沿道等が挙げられており、施設を利用する上での良好なアクセスが可能となる場所への立地の希望が高いものと考えられる。

市庁舎を移転し、整備・建設する際に大切に思うことについては、車などの利便性が高いことが 60.6% (506 人)、災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えることが 43.1% (360 人) 等の意見がだされている。仮に市庁舎を移転した場合の移転跡地の利用については、個人や企業などへ売却や賃貸による民間への貸し出しが 36.5% (305 人)、子育てや高齢者などのための福祉施設が 35.8% (299 人)、生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などができる施設が 35.6% (297 人) となっている。そのため、今後の市庁舎のあり方の具体的な検討とあわせて、市庁舎が移転した場合の現在の建物や跡地の利用方法も検討していく必要があるものと考えられる。

## 5 . 調査票

あなたのご意見をお聞かせください。

### 市庁舎の整備方針に関する市民アンケート調査

#### 結城市庁舎の整備方針に関する市民アンケートご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政に対するご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、結城市の本庁舎について、第1庁舎は昭和60年3月に既存建物の一部を残しながら大規模な改築工事を行い、第2庁舎は昭和47年に建設され昭和61年3月に改修（模様替え）工事を実施し、西庁舎は平成3年3月に建設されました。

第1・第2庁舎は大規模改築・改修工事から約30年近くが過ぎようとしており、その間、施設の老朽化や狭あい化に対応するため、増改築工事を行うとともに、旧大町分庁舎（現在は廃止）や駅前分庁舎への機能分散化を行ってきました。

しかし、本庁舎にはエレベーターなどの昇降設備は無く、バリアフリー化されていないことや、建物自体の老朽化、来客者用の駐車スペースが少ないこと、また、耐震化や情報技術（IT）化への対応など、現在も課題を抱えています。

さらには、平成23年3月に発生した東日本大震災における公共施設の被害（体育館・アクロス等）を考慮した場合、市庁舎は、平常時には市民の皆様サービスを提供する施設であるとともに、万が一、災害が発生した際には、対策本部（拠点）として災害復旧活動の中心となる重要な施設です。

防災拠点でもある市庁舎の整備計画に関しては、市の重要な施策課題と考えられ、第4次結城市総合計画から施策の一つとして「整備方針の検討」を行うことが明示されています。

この整備方針の検討を進めるにあたり、市民サービスと防災の拠点である市庁舎の中長期的な視点での整備の方向性を検討するうえで、市民の皆様のご意見は重要なものとなります。

平成24年度から市民団体の代表者や公募により選任された市民で構成される「結城市庁舎建設検討協議会」を設置し、庁内の検討委員会と並行して検討を進めており、今後は市庁舎の整備方針を定めた「基本構想」を策定する予定です。

そのため、より多くの市民の皆様からご意見を伺い、今後の参考として活用したいので、本アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成25年10月22日

結 城 市  
結城市庁舎建設検討協議会

## 1. アンケート調査の内容

### 配付資料

お送りした封筒には、この依頼書のほかに、以下の資料が入っています。  
ご確認ください。

- ・アンケート調査票
- ・返信用封筒

### アンケートの対象者の抽出方法

市内にお住まいの住民基本台帳に記載された20歳以上の方々を無作為に3,000人抽出し、対象としました。

### アンケートの回収方法

ご記入いただいたアンケート票は、平成25年11月8日（金曜日）までに同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。（切手は不要です。）

### アンケート調査の結果

調査の結果は、統計的に処理した成果を本年度中に市ホームページなどで公表する予定です。

## 2. ご回答にあたっての留意事項

この調査への回答は、宛名のご本人様にお願いいたします。

回答は、質問ごとに選択肢の中から、あてはまる番号に 印をつけてください。

また、質問文にある（ ）は1つ）、（ ）は3つまで）などの回答の仕方に従ってください。間違えた場合は、二本線で抹消してください。

回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にその理由をご記入ください。

ご記入は、ボールペン・鉛筆・シャープペンシル・万年筆などをお願いします。

調査は無記名方式のため、氏名の記入は不要です。

但し、地区別の意向等を把握する必要があるため、回答書には年齢・お住まいの地域等の記入をお願いいたします。

調査結果は、統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

## 3. 問い合わせ先

この調査に関するお問い合わせは、以下のところまでお願いいたします。

結城市 市長公室 企画政策課 政策調整係

電話：0296-34-0404（直通）

FAX：0296-32-7123

電子メール：kikaku@city.yuki.lg.jp

あなたのご意見をお聞かせください。

## 市庁舎の整備方針に関する市民アンケート調査票

平成 25 年 10 月

### 1. あなた自身のことについてお伺いします。

問 1 . あなたの性別をお答えください。( 1 つ選んで をつけてください)

- 1 . 男性      2 . 女性

問 2 . あなたの年齢はおいくつですか。( 1 つ選んで をつけてください)

- 1 . 20 歳代 ( 20 ~ 29 歳)      2 . 30 歳代 ( 30 ~ 39 歳)  
3 . 40 歳代 ( 40 ~ 49 歳)      4 . 50 歳代 ( 50 ~ 59 歳)  
5 . 60 歳代 ( 60 ~ 69 歳)      6 . 70 歳以上

問 3 . あなたの職業は次のうちどれですか。兼業の場合は主とする職業をお答えください。( 1 つ選んで をつけてください)

- 1 . 農林水産業  
2 . 自営業 ( 卸売業 , 小売業 , サービス業 , 製造業等 )  
3 . 会社員  
4 . 公務員  
5 . 団体職員 ( 私立の学校 , 病院 , 保育所等の教職員含む )  
6 . 自由業 ( 開業医 , 会計士 , 芸術家等 )  
7 . パート ・ アルバイト  
8 . 専業主婦 ( 主夫 )  
9 . 学生 ( 大学 , 専門学校 , 予備校生等 )  
10 . 無職  
11 . その他 ( )

問 4 . あなたが結城市にお住まいの期間とその経緯をお答えください。

( 1 つ選んで をつけてください)

- 居住年数  
1 . 1 年未満      2 . 1 ~ 5 年未満      3 . 5 ~ 10 年未満  
4 . 10 ~ 20 年未満      5 . 20 ~ 30 年未満      6 . 30 年以上
- 居住経緯  
1 . 生まれてからずっと住んでいる ( 一時的に転出した場合を含む )  
2 . 成人前に転入してきた  
3 . 成人してから転入してきた  
4 . その他 ( )

問5 . あなたのお住まいの地区をお答えください。

(該当する地区を1つ選んで をつけてください)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 . 結城小学校地区  | 2 . 城南小学校地区  |
| 3 . 結城西小学校地区 | 4 . 城西小学校地区  |
| 5 . 絹川小学校地区  | 6 . 上山川小学校地区 |
| 7 . 山川小学校地区  | 8 . 江川北小学校地区 |
| 9 . 江川南小学校地区 |              |

【区域一覧表】

	地区名 (小学校区分による)	行政区名
1	結城小学校	本町, 戸野町, 曾我殿台, 陣屋町, 塔の下町, 見晴町一丁目, 見晴町, 観音町, 戸張町, 大切町, 番匠町, 永横町, 浦町, 白銀町, 国府町, 国府町一丁目, 立町, 肝入町, 木町, 大町, 西町, 石町, 御朱印町, 鍛冶町, 神明町, 栄町, 紺屋町, 西の宮, 玉岡町, 字大谷瀬, 大谷瀬町, 鉄砲宿, 人手町, 上小塙, 下小塙, 宮の下, 松木合
2	城南小学校	下り松, 辻堂, 城之内, 新福寺, 新福寺一丁目, 新福寺二丁目, 新福寺三丁目, 新福寺四丁目, 新福寺五丁目, 新福寺六丁目, 中央町一丁目, 中央町二丁目, 繁昌塚のうち吉田用水の東側, 城南町一丁目, 城南町二丁目
3	結城西小学校	大橋町, 富士見町, 川木谷, 川木谷一丁目, 川木谷二丁目, みどり町一丁目, みどり町二丁目, 富士見町三丁目, 富士見町四丁目, 立の山東, 立の山西, 立の山北, 立の山南, 本田, 上海道, 上の宮, 逆井, 五助, 四ツ京
4	城西小学校	公達, 繁昌塚のうち吉田用水の西側, 作の谷, 下の宮, 仁軒地, 西仁軒地, 善長寺, 猿内, 黒田, 古新田, 寺内, 片蓋
5	絹川小学校	小森, 宮崎, 慶福, 久保田, 中, 泉, 林, 鹿窪
6	上山川小学校	西坪, 矢畑, 北坪, 芝良前, 中坪, 東坪, 古山, 瓦塚, 我里内, 河岸, 追立, 馬場, 南宿, 前法内, 原, 芝崎, 平間, 先城谷, 皿窪
7	山川小学校	粕礼, 今宿, 山川新宿, 新宿新田, 善右衛門新田, 古宿新田, 山王, 芳賀崎, 浜野辺, 水海道
8	江川北小学校	上成, 田間上, 田間中, 田間下, 武井上, 武井下, 武井南, 大戦防, 江川新宿, 江川大町西, 江川大町東, 大木西, 大木東, 大木北, 鷺の谷, 新田間町, 出山の一部, 小松町
9	江川南小学校	北茂呂, 南茂呂, 七五三場, 東茂呂, 一ツ木, 前新田, 蓮縄田, 出山の一部

## 2. 現在の市庁舎の利用状況や印象についてお伺いします。

問6. これまでに結城市役所の本庁舎 を利用したことがありますか。  
( 1つ選んで をつけてください)

1. ある 2. ない( 4ページの中段,「3 市庁舎の整備方針」へお進みください)

本庁舎 … 結城小学校西側の市役所(第1庁舎,第2庁舎,西庁舎)を指します

問7. 問6で「ある」と答えた方に伺います。最近,概ね1年間で何回ほど本庁舎を訪れましたか。( 1つ選んで をつけてください)

1. 1回                      2. 2~3回                      3. 4~6回  
4. 7~9回                      5. 10回以上                      6. 0回

問8. 問6で「ある」と答えた方に伺います。主にどのような交通手段で本庁舎を訪れましたか。( 1つ選んで をつけてください)

1. 徒歩                      2. 自転車                      3. バイク                      4. 自家用車  
5. バス                      6. 電車                      7. タクシー  
8. その他( )

問9. 問6で「ある」と答えた方に伺います。あなたが本庁舎を訪れたのは,どのようなご用件ですか。( 3つまで選んで をつけてください)

1. 戸籍,住民票,印鑑登録に関すること  
2. 国民健康保険に関すること  
3. 国民年金に関すること  
4. 税証明の発行等(市民税,固定資産税等)に関すること  
5. 保育所の入所や児童手当等,子ども福祉に関すること  
6. 高齢者や障がいのある人の福祉に関すること  
7. 建築確認申請や都市計画,道路等に関すること  
8. 市民相談に関すること  
9. 自治会や地域の活動に関すること  
10. 市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること  
11. その他( )

問 10. 問 6 で「ある」と答えた方に伺います。本庁舎を訪れて、主にどのような点をご不便に感じましたか。( 3 つまで選んで をつけてください)

1. 駐車場や駐輪場が少ない
2. 周辺道路が入り組んでいて、狭い
3. 公共交通の利用が不便
4. 本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要がある
5. 窓口や担当部署の位置がわかりづらい
6. 廊下、階段、ロビー、窓口、待合スペースなどが狭い
7. 窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない
8. 市民が自主的な活動で利用できる場所がない
9. 多目的トイレ、授乳室、相談スペースが足りない
10. 段差や階段が多く移動しづらい
11. その他( )

### 3. 市庁舎の整備方針についてお伺いします。

市では平成 24 年度より、第 5 次結城市総合計画書に明記されている市庁舎の整備方針の検討を行っています。

検討の目的は、現在の市庁舎が抱える課題や問題点が年々大きくなっていることや、東日本大震災時において被害を受けたことなどから、今後の市庁舎のあり方について抜本的な検討を行うことです。

検討は、市内の各種団体、市民により構成される検討協議会と庁内の組織により進められており、次の課題が挙げられています。

#### 【主な課題・問題点】

##### 耐震性の欠如

本庁舎の第 2 庁舎は、旧耐震基準による建築のため、大規模地震の際には倒壊の危険性があると考えられます。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、市民の安全を確保するために情報収集や対策の検討を行う災害対策本部を早急に設置しようとしたましたが、安全性の観点から設置場所に苦慮した経過があります。

##### 施設・設備の老朽化

給排水や冷暖房などの設備の老朽化が進んでいます。特に冷暖房設備は、集中式のボイラー方式を用いていますが、ここ数年故障も発生し、メンテナンスだけでは対応しきれなくなっています。

### 狭あい化による執務効率の低下

執務空間が狭く、市民交流スペースや行政情報コーナーなどの空間が不足しており、市民協働による行政運営に対応できる施設となっていません。駅前分庁舎への分庁舎化により、一時よりは改善されていますが、会議室などは慢性的に不足し、市民の相談窓口や待合スペースも狭く、プライバシーの観点からも問題があります。

### バリアフリー対応への不足

公共施設は、誰もがわかりやすく利用しやすいものとしての配慮が求められますが、現在の市庁舎は、エレベーターが無く段差も多いなど、バリアフリー化への対応ができていません。

### 環境への配慮

自然エネルギーの活用等、環境に配慮しているとは言い難く、太陽光発電が設置されていますが、消費電力に対しては微かであり、断熱性や設備機器の省エネ化なども含め、さらなる環境への配慮が必要です。

-----  
以上のことを踏まえ、お伺いします。

問 11. 市庁舎の整備方針に関する検討は、平成 24 年度から行っています。

広報結城や市のホームページで検討経過を公表、お知らせしていますが、ご存知ですか。(1つ選んで をつけてください)

1. 広報紙や市のホームページを見て、知っている
2. 知人などから検討を行っていることを聞いた程度
3. このアンケートで初めて検討を行っていることを知った

問 12. 市庁舎の整備方針の検討を行うことについて、あなたの考えをお聞かせください。(1つ選んで をつけてください)

1. 検討を進め、整備構想や整備計画を明確に示した方がよい
2. 急ぐ必要はないが、方針を決める必要はある
3. 特に検討を行う必要はない(現状のままで良い)
4. どちらでも良い(特に関心はない)

問 13. 今後、現在の市庁舎をどのようにしたら良いと思いますか。  
あなたの考えにもっとも近いものを選択し、その理由をお聞かせください。  
(1つ選んで をつけてください)

- |   |   |                           |
|---|---|---------------------------|
| 1. 現在のまま運用する<br>(設備機器の故障や震災等により損壊した場合は、<br>その都度修繕などで対応する) | } | 問 15 (8 ページ) へお進み<br>ください |
| 2. 現在地に新築する。(建替えや増改築を含む)                                  |   |                           |
| 3. 現在地から移転して、新築する   | } | 問 14 へお進<br>みください         |
| 4. 空き施設を改修して、移転する   |   |                           |
| 5. その他 (  |   |                           |

理由.....  
.....  
.....

問 14. 問 13 で「3. 現在地から移転して、新築する」または「4. 空き施設を改修して、移転する」を選んだ方にお聞きします。

(ア) 市庁舎の位置又は移転先はどのあたりが適切だと思いますか。  
また、その理由もお聞かせください。(1つ選んで をつけてください)

1. 市の北部市街地エリア (現在の市役所周辺の市街地やその周辺)
2. 市の南部市街地エリア (アクロス周辺の市街地やその周辺)
3. その他又は具体的な場所などがあればご記入ください  
( )

理由.....  
.....  
.....

(イ) 現在地から移転し、市庁舎を整備・建設する場合に、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまで選んで をつけてください)

1. 市役所周辺に公共施設があること
2. 地理的に(市の地形から)みて、市の中心に近いこと
3. 人口の分布状況からみた中心地(人口重心地)に近いこと
4. 公共交通(電車、バス)の利便性が良いこと
5. 車などでの利便性(道路幅員が広くアクセスしやすい)が良いこと
6. 周辺と調和し、地域の活性化に貢献すること
7. 災害時には防災中樞拠点となり、市民の救援を的確に行えること
8. 建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること
9. 将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること
10. 執務スペースが将来に対応できるように十分に確保されていること
11. 長期にわたり使用できること
12. その他( )

人口重心地とは

人口の1人1人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいいます。たとえば、その地域に住んでいる全ての人が同じ体重を持つと仮定して、その地域を支えることができる重心となります。

(ウ) 現在の場所から移転し、市庁舎を建設する場合は、現在の建物や跡地を、どのようにしたら良いか、あなたのお考えをお聞かせください。(2つまで選んで をつけてください)

1. 歴史館や資料館、観光案内拠点施設などの観光・交流施設
2. 生涯学習の講座やボランティア活動、地域活動などができる施設(コミュニティ施設や公民館施設など)
3. 子育てや高齢者などのための福祉施設
4. 観光客や買い物客のための市営駐車場
5. 個人や企業などへ売却、または賃貸により民間へ貸し出す
6. 国や県の施設を誘致
7. その他( )

8ページの問15へお進みください。

